

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成24年度実施事業)

平成25年12月
遠野市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	教育委員会の活動	1
	(1) 遠野市教育委員会委員名簿	1
	(2) 教育委員会の会議の開催状況	1
	(3) 教育委員会の会議の審議及び協議の状況	1
	ア 教育委員会定例会・臨時会	1
	イ 教育委員会委員協議会	5
	(4) 教育委員会の会議以外の活動状況	5
3	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価	9
	(1) 政策別実施事業の成果と課題	10
	ア 健康づくりの推進	10
	イ ふるさと教育の推進	11
	ウ 生涯学習の推進	21
	エ ふるさとの文化の継承・創造	23
	(2) 平成24年度に実施した事務事業の点検及び評価	24
	ア 点検及び評価の概要	24
	イ 総合計画後期基本計画まちづくり指標の点検及び評価	24
	ウ 平成24年度に実施した84事務事業の点検及び評価	26
	エ 外部評価の結果	26

○資料編

【資料1】	平成24年度総合計画後期基本計画まちづくり指標 (教育委員会19指標) 実績一覧表	32
【資料2】	平成24年度事務事業成果説明書(教育委員会84事務事業)	33

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第27条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

この報告書は、遠野市教育委員会が平成24年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、この報告書では、平成25年 9 月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第 233条第 5 項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類」のうち教育委員会に係る部分についても、抽出して取りまとめています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動

(1) 遠野市教育委員会委員名簿（平成25年 3 月31日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	似 内 宏 和
委員長職務代理者	角 田 直 樹
委 員	三 浦 芳 昌
委 員	馬 場 明 子
委員（教育長）	藤 澤 俊 明

(2) 教育委員会の会議の開催状況

平成24年度は、教育委員会定例会を毎月 1 回（計12回）及び教育委員会臨時会を 6 回、合計 18回の会議を開催しました。

また、会議に付議すべき議案の事前審議その他研究協議を行うため、委員協議会を 2 回開催しました。

(3) 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

ア 教育委員会定例会・臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び遠野市教育長に対する事務委任規則

(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、平成24年度において教育委員会定例会及び臨時会(18回の会議のうち14回)で審議した案件は、35件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	9
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	4
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	2
5	職員の人事異動の方針を定めること	5
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと(県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。)	5
7	附属機関の委員の任免に関すること	5
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	2
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		35

【平成24年度教育委員会会議議案一覧】

議案番号	件 名	提出日	決議	分類
平成24年4月定例会				
17	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成24年4月27日	承認	7
18	遠野市就学指導委員会委員の任免の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成24年4月27日	承認	7
19	遠野市指定有形文化財並びに遠野市指定名勝及び遠野市指定天然記念物の指定に関し議決を求めることについて	平成24年4月27日	可決	8
平成24年6月定例会				
20	遠野市学校給食運営審議会委員の任免に関し議決を求めることについて	平成24年6月28日	可決	7
平成24年8月定例会				
21	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定について	平成24年8月28日	可決	2
22	平成25年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成24年8月28日	可決	3
23	平成25年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成24年8月28日	可決	3
24	平成24年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成24年8月28日	可決	9

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成24年10月臨時会				
25	平成24年10月10日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成24年 10月 2 日	可決	5
26	平成24年10月10日付け定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成24年 10月 2 日	可決	5
平成24年10月第2回臨時会				
27	遠野市教育委員会行政組織規則等の一部を改正する規則の制定について	平成24年 10月 9 日	可決	2
28	遠野市教育委員会非常勤の地区公民館長に関する規則の制定について	平成24年 10月 9 日	可決	2
29	遠野市教育委員会専決代決規程及び遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	平成24年 10月 9 日	可決	2
30	平成24年10月10日付け定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成24年 10月 9 日	可決	5
平成24年10月定例会				
31	平成25年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	平成24年 10月29日	可決	5
平成24年12月臨時会				
32	教職員の人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成24年 12月 4 日	可決	6
平成24年12月定例会				
33	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	平成24年 12月21日	可決	10
平成25年 1 月定例会				
1	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成25年 1 月25日	可決	7
2	教育委員会事務局職員の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成25年 1 月25日	承認	6
3	平成25年 4 月 1 日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成25年 1 月25日	可決	5
4	遠野市教育委員会通学バス運行管理規程の一部を改正する訓令の制定について	平成25年 1 月25日	可決	2
平成25年 2 月定例会				
5	教育機関の廃止に関し議決を求めることについて	平成25年 2 月20日	可決	3
6	教育機関の設置に関し議決を求めることについて	平成25年 2 月20日	可決	3
7	平成25年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	平成25年 2 月20日	可決	1
8	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について	平成25年 2 月20日	可決	2

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成25年3月臨時会				
9	平成25年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求め ることについて	平成25年 3月1日	可決	6
平成25年3月第2回臨時会				
10	平成25年度教職員定期人事異動の内申の専決処理に関し 承認を求めることについて	平成25年 3月18日	承認	6
11	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めること について	平成25年 3月18日	可決	6
平成25年3月定例会				
12	遠野市学校給食の実施に関する規則の制定について	平成25年 3月26日	可決	2
13	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の 制定について	平成25年 3月26日	可決	2
14	遠野市教育委員会専決代決規程及び遠野市教育委員会事 務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定につ いて	平成25年 3月26日	可決	2
15	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱に関し議決を求め ることについて	平成25年 3月26日	可決	7
16	遠野市指定天然記念物の指定に関し議決を求めること について	平成25年 3月26日	可決	8
17	構造改革特別区域法第29条第2項の規定により遠野市教 育委員会の意見を聴くことに関する規則の一部を改正す る規則の制定に関し意見を求めることについて	平成25年 3月26日	可決	4
平成25年3月第3回臨時会				
18	構造改革特別区域法第29条第2項の規定により遠野市教 育委員会の意見を聴くことに関する規則の一部を改正す る規則の一部を改正する規則の制定に関し意見を求め ることについて	平成25年 3月30日	可決	4

イ 教育委員会委員協議会

委員協議会では、主要な施策、事業等の内容や実施状況に関する報告、説明及び協議を行いました。平成24年度の協議件数は、2件です。

番号	件名	協議日
1	幼児の保育及び教育に係る考え方について	平成24年11月26日
2	遠野市立遠野中学校校舎（第1期）改築工事の進捗状況等について	平成24年12月21日

(4) 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の委員は、上記の会議のほか、以下のとおり各種行事等に出席しました。

○ 市議会

- ・本会議（委員長及び教育長）
- ・予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）

○ 学校訪問

- ・学校懇談会（7月：鱒沢小学校、11月：青笹小学校）
- ・学校公開研究会（10月：綾織小学校、11月：遠野小学校）
- ・遠野旬を食べよう給食（6月～12月、計6回）

○ 中学校再編成

- ・遠野市学校づくり協議会（7月、10月、12月、平成25年1月）
- ・遠野市学校づくり協議会学区部会（7月、平成25年2月）

○ 各種行事等（主なもの）

- ・平成24年4月1日付け教育委員会定期人事異動辞令交付式（4月）
- ・小・中学校新任教職員及び転任教職員着任式（4月）
- ・小・中学校入学式（4月）
- ・県立花巻清風支援学校遠野分教室中学部開設式（4月）
- ・のびっこ教室開所式（4月）
- ・研究指定校連絡会議（4月）
- ・子育て総合支援センター開所式（4月）
- ・奨学生選考会（4月）
- ・遠野市教育研究所第1回運営委員会（4月）
- ・特別支援教育推進会議（4月）
- ・学校保健会定期総会（4月）
- ・遠野市芸術文化協会総会（4月）
- ・遠野市少年委員協議会総会（4月）

- ・学力向上対策会議（5月、9月、2月）
- ・総合食育センター新築工事安全祈願祭（5月）
- ・教育研究所研究部会（5月）
- ・各町町民運動会（5月）
- ・就学指導委員会（5月、10月、11月、平成25年3月）
- ・遠野市教育研究会研修会（5月）
- ・教育委員会・市民センター連絡会議（5月）
- ・市内小学校運動会（5月）
- ・遠野市スポーツ少年団本部総会（5月）
- ・遠野市生徒指導推進協議会総会（5月、11月）
- ・遠野市生徒指導関係機関合同会議（6月）
- ・遠野旬を食べよう給食（6月、7月、9月、10月、11月、12月）
- ・遠野市地域教育協議会連絡会（6月）
- ・岩手県青少年劇場（6月）
- ・租税教室推進協議会定期総会（6月）
- ・学校懇談会（7月、11月）
- ・平成南部藩寺子屋交流事業「八戸市及び七戸町との児童交流」研修会（7月）
- ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」（7月、8月、9月、10月）
- ・遠野市学校づくり協議会（7月、12月）
- ・中総体県大会サッカー競技開会式（7月）
- ・遠野わらすっこまつり（7月）
- ・市内小学校水泳記録会（7月）
- ・市内中学校水泳記録会（8月）
- ・大府市小学生都市間交流事業（8月）
- ・わたしの主張遠野大会（8月）
- ・日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン大会（8月）
- ・遠野市中学校陸上競技記録会（8月）
- ・中学校総合体育大会新人大会（9月）
- ・市小学校陸上記録会（9月）
- ・市制施行7周年記念功労者表彰式（10月）
- ・市内一周継走大会（10月）
- ・学校公開研究会（10月、11月）
- ・遠野市要保護児童対策地域協議会（10月）
- ・全国防犯標語表彰伝達式（10月）
- ・小学校学習発表会、中学校文化祭（10月、11月）
- ・市内小学校音楽祭（10月）
- ・遠野小学校屋内運動場改築工事安全祈願祭（11月）
- ・遠野地区中学校総合文化祭（11月）
- ・校長会三役との懇話会（11月）

- ・遠野北小学校ことばの教室 20 周年記念式典（11 月）
- ・武蔵野市との児童交流事業報告会（11 月）
- ・遠野市地域教育協議会連絡会（11 月）
- ・学校給食調理・配送等業務プロポーザル審査会（11 月）
- ・教科書採択会議（11 月）
- ・「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展表彰式（11 月）
- ・市民囲碁まつり（11 月）
- ・クリスマス囲碁・将棋大会（12 月）
- ・ハッピーバースデーゆりかご&元気わらすっこ暖らん会（12 月）
- ・遠野市教育文化振興財団顕賞式・市民新年交賀会（平成 25 年 1 月）
- ・遠野市中学生海外派遣交流事業・結団式（平成 25 年 1 月）
- ・成人式「はたちのつどい」（平成 25 年 1 月）
- ・保育のつどい（平成 25 年 2 月）
- ・市内中学校環境科学発表会（平成 25 年 2 月）
- ・遠野市学校保健会研究大会（平成 25 年 2 月）
- ・中学生海外派遣交流事業報告会（平成 25 年 2 月）
- ・遠野市民スキー大会（平成 25 年 2 月）
- ・文化財保護審議会（平成 25 年 2 月）
- ・平成 24 年度ことばの教室音読発表会（平成 25 年 3 月）
- ・遠野中学校校舎内覧会（平成 25 年 3 月）
- ・市内中学校 8 校閉校式（平成 25 年 3 月）
- ・小・中学校卒業証書授与式（平成 24 年 3 月）
- ・教育委員会退職者辞令交付式（平成 24 年 3 月）

○ その他の行事（主なもの）

- ・遠野市老人クラブ連合会総会（4 月）
- ・郷土芸能海外公演報告会（4 月）
- ・八戸市大館地区の新田城まつり運営委員会との交流会（5 月）
- ・遠野市保健医療福祉ネットワーク懇談会（5 月）
- ・「いっぼいっぼの会」総会（5 月）
- ・遠野市 P T A 連合会定期総会（5 月）
- ・ときめらの会総会（5 月）
- ・岩手県民体育大会選手団結成式（6 月）
- ・岩手県ことばを育む親の会大会遠野大会（6 月）
- ・遠野市消防操法競技会（6 月）
- ・社会を明るくする運動遠野地区大会（7 月）
- ・次世代林業東北サミット会議（7 月）
- ・遠野市老人クラブ連合会さわやかスポーツ大会（7 月）
- ・岩手県原爆戦没者追悼集会（8 月）
- ・遠野市少年消防クラブ防火野球大会（8 月）

- ・遠野市戦没者追悼・平和祈念式（9月）
- ・遠野市防災訓練（9月）
- ・武蔵野市民ツアー歓迎交流会（10月）
- ・遠野市産業まつり（10月）
- ・合同金婚式祝賀会（11月）
- ・遠野市郷土芸能共演会（11月）
- ・遠野小学校にぎやかコンサート（12月）
- ・市民の舞台・遠野物語ファンタジー旗揚げ会（12月）
- ・市婦協歳末助け合い演芸大会（12月）
- ・赤羽根スキー場安全祈願式（12月）
- ・遠野市長杯争奪遠野市少年少女空手道選手権大会（12月）
- ・遠野市消防出初式（平成25年1月）
- ・地域で子どもを育てる活動発表会（平成25年1月）
- ・清養園氷上まつり（平成25年2月）
- ・遠野物語ファンタジー（平成25年2月）

3 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価

遠野市教育委員会は、遠野市の行政の基本方針である「遠野市総合計画後期基本計画」（平成22年11月策定）に基づき、教育行政を推進しています。

教育委員会は、下図に示す「遠野市総合計画後期基本計画」の体系において、2つの大綱及び4つの政策にかかわっています。

この4つの政策ごとに、平成24年度における実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画後期基本計画体系図】

基本理念 「遠野スタイルの創造」

将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策	
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり		
	2 快適な居住環境の形成		
	3 道路交通基盤の充実		
	4 安心安全な地域づくり		
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進（スポーツ）	
		2 医療体制の充実	
	2 地域福祉の充実		
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興		
	2 商工業の振興		
	3 観光と交流のまちづくり		
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実	
		2 学校教育の充実	
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実	
		2 芸術文化活動の推進	
	3 ふるさとの文化の継承・創造		1 郷土文化の保存と活用
			2 文化財の保存と継承
		3 郷土の文化を生かした地域創造	
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり		
	2 行財政基盤の強化		
	3 行政サービスの向上		

(1) 政策別実施事業の成果と課題

ア 健康づくりの推進

■総括

- 子どもから高齢者まで幅広い世代の市民一人一人が、身近な施設を拠点として、生涯にわたって日常的にスポーツに親しむことのできる健康・生涯スポーツ社会の実現を目指し、各種スポーツ教室の実施、学校体育施設の開放、市体育協会との連携による各種市民スポーツ大会の開催など、生涯スポーツの普及及び振興に努めました。
- 市民の健康づくり活動においては、遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」を中心に、子どもから高齢者まで幅広く、日常的に生涯にわたってスポーツに親しむことを目指し、地域の実情に応じた健康づくりやスポーツに関する教室、講座等を多数開催しました。
- トップレベルの指導者を講師にサッカー教室を開催し、ジュニアスポーツの競技力の向上に努めるとともに、「早寝・早起き・朝ごはん運動」及びチャレンジ徒歩通学を継続して実施し、子どもの生活習慣の改善や体力の向上に努めました。また、「キッズ元気アップ応援隊」を編成し、就学前の幼児の体力及び運動能力の向上に努めました。
- 平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会サッカー競技（少年の部）の会場整備に当たり、宿泊施設実態調査を行うとともに、施設整備方針を策定しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
【健康づくり活動の推進】		
健康スポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」は、市民センターを本校とし、スポーツ、保健、生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践。市内9地区センターをサテライト校とし、地域の実情に応じた健康づくり活動を実践し、市民の健康づくりに関する意識が高まってきている。 <ul style="list-style-type: none"> ○本校…スポーツ教室95回実施 ○サテライト校…スポーツ教室69回実施 市内全小学校を対象にチャレンジ徒歩通学を継続して実施したことにより、児童の生活習慣は改善傾向にある。 市内13保育園へ「キッズ元気アップ応援隊」の講師を派遣したことにより、小学校就学前の幼児に様々な運動を体験させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室への参加者を増やすための取組をさらに充実させていく必要がある。 子どもの体力の向上のため、学校、地域、保護者、行政等が連携し、さらに取組を推進していく必要がある。

事業	成果	課題
【スポーツ振興】		
競技・イベントスポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 市体育協会、スポーツ少年団等の活動を支援するとともに、関係団体と連携して各種スポーツ大会等を開催し、競技力の向上に努めた。 トップレベルの指導者を講師に、サッカースポーツ少年団、中学校・高校サッカー部を対象としたサッカー教室を開催し、ジュニアスポーツの競技力の向上を図った。 	技力の向上を推進するため、学校スポーツと社会スポーツとの連携をさらに強めていく必要がある。
岩手国体施設整備調査事業	平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会サッカー競技（少年の部）の会場整備に当たり、選手、役員等の受入先の確認のため、宿泊施設実態調査を全県にて行い、受入可能施設及び受入可能人数の1回目の確認を行った。	施設整備方針を早急に策定するとともに、整備に係る検討を継続していく必要がある。

イ ふるさと教育の推進

(7) 就学前教育の充実

■総括

- 遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」に基づき、社会福祉法人遠野市保育協会等の関係機関・団体、保護者、地域住民等、学校関係者及び事業者との連携を図りながら、社会全体で子育てを支援する環境づくり及び児童福祉を推進しました。
- 多様化する保育のニーズに応えるため、通常の保育所における保育に加え、一時保育サービスや休日保育、病児病後児保育など、細やかな保育を実施しました。
- 学校等の関係機関との連携を図りながら、特に配慮が必要な子どもの早期発見、早期対策を講じ、子どもの権利侵害に対する問題の解決に努めました。

■成果と課題

事業	成果	課題
幼児教育・保育の向上	宮守町内の高齢者施設・身体障がい者支援施設の訪問、町内の高齢者との交流、中高生の体験学習やボランティアの受入れ等を行うことで、園児の情操教育の向上や世代間交流を図ることができた。	訪問・受入れともに、実施時期や感染症の有無の事前調査等について配慮する必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・園児と小学生との交流を行い、幼稚園及び小学校の相互連携を図った。 ・小学校教諭と幼稚園教諭等とが、保育参観や授業参観を相互に実施し、情報交換を行うことにより、互いの状況を把握し、小学校入学後における児童の円滑な指導につなげることができた。 	<p>今後も、就学前教育のあり方、指導の方向性等について学校側との協議や情報交換を行う場を設け、さらなる連携を図っていく必要がある。</p>
	<p>キッズ運動教室を開催したことにより、遊びを通して体を動かすことの楽しさを伝えることができた。</p>	<p>毎日の遊びの中で体を動かしていはいるが、幼児の体力を更に向上させるために、定期的に体を動かす機会を設ける必要がある。</p>
	<p>野菜栽培等や、保育参観日を利用した給食の試食等を行い、園児の食育及び各家庭における食生活への意識を高めた。</p>	<p>食事の大切さを幼児に伝えるには、幼稚園・保育所における指導に加え、家庭の協力や意識づけが不可欠である。</p>
	<p>幼児教育に携わる幼稚園教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、年間を通じた研修を実施した。</p>	<p>今後も、教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、各種研修を実施し、研究を深める必要がある。</p>
保育教育環境の整備	<p>市立幼稚園・保育所の修繕等を行い、幼児の教育環境の整備を図った。</p>	<p>幼稚園・保育所の環境整備に係る短期的・長期的な計画が必要である。</p>
芸術・文化活動	<p>地域のまつり等への参加を通して、幼児が芸術・文化に触れるとともに、実際に携わる機会の確保に努めた。</p>	<p>今後も、幼児の情操教育の向上を図るため、優れた芸術・文化に触れる機会の確保に努める必要がある。</p>

(イ) 学校教育の充実

■総括

児童生徒の「生きる力」を育むため、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」を学校教育目標に掲げ、「学力向上の推進」「豊かな心の育成」「心身ともに健康でたくましい子どもの育成」の3つの視点のもと、「学力向上の推進」「特別支援教育の充実」「豊かな心を育む教育の推進」「特色ある学校づくりの推進」「学校経営の質的向上」の5つを取組の重点として、各学校との共通理解と相互連携のもと、各種事業を積極的に推進しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
【学力向上の推進】		
学力向上対策会議	<p>校長、副校長、教務主任及び研究主任を対象として会議を3回開催した。各校の実態と課題に即した年間の「計画→実行→評価→見直し」のPDCAサイクルによる学力向上策が定着してきている。</p>	<p>市全体で共通して取り組むべき事項を設定する必要がある。</p>

教育研究指定校事業	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野小学校及び綾織小学校で学校公開研究会を開催するとともに、遠野北小学校及び達曽部小学校を研究校に指定した。 ・学校公開研究会の実施により、それぞれの研究の成果を他の小・中学校に還元することができた。 	<p>学校の自主性をより高めていく必要がある。</p> <p>また、研究成果を広く還元するためにも、参加体制について検討する必要がある。</p>
学校教育専門員配置事業及び指導主事の派遣	各校からの要望に応じて、学校教育専門員を60回、指導主事を115回派遣し、教師の授業力の向上及び校内研究の充実を図った。	学校教育専門員について算数・数学に限定せず、校内研究の進め方等においても活用を図る必要がある。
外国人講師招へい事業	小学校11校及び中学校8校に外国人講師を計271回派遣し、児童・生徒の英語力の向上及び国際理解教育の充実を図ることができた。	小学校5・6年において実施する外国語活動において、より一層外国人講師の活用を図る必要がある。
幼稚園・保育園・小学校交流会	幼稚園教諭、保育士及び小学校の教諭が相互の情報交換を行うため、全体で1回、また小学校区ごとに1回以上交流会を開催し、児童に対する教育の共通課題を確認するとともに、行動等について気になる点のある児童への指導のあり方について理解を深めることができた。	小学校区ごとに行っている交流会の内容を紹介するなど、交流のあり方についての情報交換の場が求められる。
教育研究所	教科指導における課題の解決及び特別支援教育の充実を図るとともに、学校に還元することができる実践的な研究を行い、その成果を研究発表会において発表した。	各教科の重点的な研究をさらに充実させていく必要がある。
標準学力検査・学力向上事業	NRT（標準学力検査、4月実施）及び学習定着度調査（国：4月実施、県：10月実施）の結果を分析し、各校への助言・指導を行ったことで、各教科における学力の実態に基づいた指導を行い、児童・生徒の基礎学力の定着を図る一助とすることができた。	これらの調査の結果に基づき、各学校において補充指導及び個別指導を充実させ、さらなる学力の向上につなげていく必要がある。
【特別支援教育の充実】		
特別支援教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に支援を必要とする通常学級に在籍している児童のため、特別支援教育支援員を12名配置し、生活上・学習上の支援を行った。 ・別室登校など個別に支援を必要とする生徒の学校生活上の相談等を行うため、相談員2名を配置した。 ・県立花巻清風支援学校遠野分教室、保育所・幼稚園、市保育協会、遠野健康福祉の里など関係機関との連携を図り、特別支援教育と就学指導の推進を図った。 	通常学級に在籍している特別な支援を必要とする児童・生徒についても、個別の指導計画を作成し、継続的な支援を行う体制を整えていく必要がある。
就学指導委員会	知能検査や各種教育相談を経て就学指導委員会を3回開催し、対象児童生徒の適正な就学支援を行った。	就学前児童について、関係機関・団体と、さらなる連携強化を図り、望ましい就学支援につなげていく必要がある。

事業	成果	課題
【豊かな心を育む教育の推進】		
道徳地区公開講座	すべての小・中学校において、道徳の授業を保護者や地域の方々に公開し、児童・生徒の道徳心の向上を図ることができた。	今後も事業を継続し、児童・生徒の道徳心の向上を図っていく必要がある。
遠野わらすっこ「夢の教室」事業	公益財団法人日本サッカー協会が取り組む『JFAこころのプロジェクト「夢の教室」』（プロスポーツ選手等が夢を持つことの大切さや夢に向かって努力することの大切さを児童に語る授業を行う。）を、小学校5・6年生を対象として5校で計11回実施し、児童が自分の夢について真剣に考える機会を提供するとともに、個性を持った仲間とお互いを大事にしあいながら助け合うことの大切さ等について学んだ。 中学校再編成事業の一環として、3つの中学校区ごとに「冬の特別編」を行い、平成25年4月にスタートする新設中学校生活へ円滑な環境をつくることができた。	児童・生徒の心身の健全な発達に資する事業として各学校に定着してきていることから、今後も事業を継続していく必要がある。
文化行事奨励（小・中学校）事業	小学校音楽教育協議会及び中学校文化連盟に事業補助を行い、児童生徒の文化活動を通じた健全育成を推進した。 市内小・中学校児童生徒作品展（絵画・書道）の実施により、児童・生徒の感性や情緒面の伸長に寄与することができた。 各小・中学校から推薦された作文等を、文集「遠野」にまとめ発行した。	児童・生徒一人一人の作品の質をより高める指導のあり方について検討を重ねる必要がある。
平成・南部藩寺子屋交流事業	市内小学校から26名の児童が参加し、受入・派遣交流を通じて、根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市、同七戸町の歴史や文化を学ぶとともに、両市町の児童との絆を深めることができた。	昭和62年度から継続して実施しているが、小学校の児童数が減少してきていることから、参加児童数の見直しについて検討していく必要がある。
体育行事奨励（小・中学校）事業	小学校体育協会及び中学校体育連盟が主催する地区大会の開催等に対する支援を行った。また、中学校体育連盟が主催する県・東北・全国大会出場選手への派遣補助を行う等、体育活動を通して小・中学生の健全育成に寄与した。	小・中学生の心身の健全育成を図るため、今後も支援を継続していく必要がある。
【特色ある学校づくり】		
特色ある学校づくり事業	すべての小・中学校が、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かし、農業体験、郷土芸能などの地域理解学習に取り組んだことにより、学校、地域及び家庭の連携が図られるとともに、児童・生徒が自らの郷土に対する理解と愛着を深めることができた。	総合的な学習の時間に関し、年間指導計画の見直しを図ることが必要である。

事業	成果	課題
【学校経営の質的向上】		
学校懇談会	鱒沢小学校及び青笹小学校において懇談会を開催し、それぞれの学校の取組状況に関し、教育委員会委員及び事務局職員と学校の教職員とが意見交換を行った。	できる限り学校に負担がかからないような開催方法を検討する必要がある。
学校評価	すべての小・中学校において、教職員による内部評価及び保護者、児童生徒、学校関係者による外部評価を実施し、その結果をまとめ、公表した。	学校経営に外部評価の結果がより効果的にフィードバックされるよう、評価の方法等について、さらに見直しを図っていく必要がある。

(ウ) 教育環境の充実

■総括

- 中学生にとってよりよい教育環境を整備するため、「遠野市立中学校再編成計画」（平成22年8月31日決定）に基づき、8校の中学校を閉校し、平成25年4月1日に新たに遠野中学校、遠野東中学校、遠野西中学校の3校を新たに設置しました。
設置に当たっては、校名、校章、校歌、制服などを決定するとともに、新設中学校の校舎の改築整備やスクールバスの購入など、教育環境を整備しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
【中学校再編成の推進】		
学校再編成の推進	<p>平成24年3月遠野市議会定例会において、遠野市立中学校再編成計画に基づき平成25年4月1日に新たに設置する3校の中学校の名称が決定したことから、校歌、校章、制服など、新設校3校の開校に向け準備を行った。</p> <p>①学校づくり協議会の開催 学校運営計画の協議を進めるため、3学区ごとに教職員による新設中学校運営計画案作成チームを組織し、検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校づくり協議会（2回） ・遠野中・綾織中・附馬牛中学区部会（4回） ・土淵中・青笹中・上郷中学区部会（4回） ・小友中・宮守中学区部会（4回） <p>各学区部会での協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の制服業者の決定について ・閉校式典の日程の決定について ・校歌の作成方法について ・校章作成の進捗状況について ・新設中学校の制服について ・新設中学校の校章図案二次選考について ・スクールバスの運行図（案）について 	新設中学校3校の学校運営のフォローアップを行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況の報告について 校章の作成、学用品（運動着、カバン、内履き）の業者決定、中学校再編成に係る予算、閉校式典次第（案） ・新設中学校校章図案最終案の決定について ・新設中学校校歌について <p>②閉校記念式典の開催</p> <p>平成25年 3月22日 遠野中 3月23日 綾織中、青笹中、上郷中 宮守中 3月24日 小友中、土淵中、附馬牛中</p>											
【学校施設の整備】												
遠野小学校屋内運動場改築整備事業（平成23年度繰越事業）	<p>屋内運動場の老朽化に伴い施設の改築を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>①屋内運動場改築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 236,761,350円（3月25日完成） 建築工事 218,407,350円 電気設備 18,354,000円 <p>②公有財産購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 12,887,433円 	<p>小学校施設の環境整備が図られたことから、今後は関係課と連携し一体的な子育て環境整備（旧屋内運動場跡地に児童館建設）の構築を進める必要がある。</p>										
遠野中学校改築整備事業	<p>生徒の安全安心な教育環境を確保するため、老朽化した校舎の改築に向けて工事に着手した。改築後の校舎は、再編成後の遠野中学校校舎として使用する。</p> <p>【現年分】</p> <p>スクールバスのロータリースペース、敷地内通路等の外構工事と、特別教室や管理室の備品購入を行い、教育環境の整備に努めた。</p> <p>①外構工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 74,298,000円（3月25日完成） <p>②備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 35,973,750円 <p>【通次繰越分】</p> <p>平成23年度からの継続事業として校舎改築工事（第1期）を進め、普通教室及び特別教室、管理室など新校舎の82.4%が完成し、平成25年2月28日に引き渡しを受けた。</p> <p>校舎改築工事（第1期）契約額</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td></td><td style="text-align: right;">1,170,471,750円</td></tr> <tr><td>内23年度支払額</td><td style="text-align: right;">85,000,000円</td></tr> <tr><td>内24年度支払額</td><td style="text-align: right;">1,085,471,750円</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（2月25日完成）</p> <p>工事監理業務委託料 契約額 16,275,000円</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>内23年度支払額</td><td style="text-align: right;">1,350,000円</td></tr> <tr><td>内24年度支払額</td><td style="text-align: right;">14,925,000円</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（3月13日完了）</p>		1,170,471,750円	内23年度支払額	85,000,000円	内24年度支払額	1,085,471,750円	内23年度支払額	1,350,000円	内24年度支払額	14,925,000円	<p>平成23年度から24年度のⅠ期工事が完了した。引き続き平成25年度から2カ年計画によりⅡ期工事が行われることから、学校と連携し生徒の安全に配慮しながら工事を進める必要がある。</p>
	1,170,471,750円											
内23年度支払額	85,000,000円											
内24年度支払額	1,085,471,750円											
内23年度支払額	1,350,000円											
内24年度支払額	14,925,000円											

<p>青笹中学校増築 整備事業</p>	<p>中学校再編成後の遠野東中学校の校舎となることから、教室の増築及び既存校舎の改修により、生徒数に対応する校舎の整備を図った。</p> <p>また、管理室への冷暖房設備設置工事及びスクールバス乗降場所の舗装工事等施設的环境を整えるとともに、増築した教室等の備品購入を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>①校舎増築・改修工事（繰越明許費、現年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 157,976,700円（2月28日完成） 建築工事 115,600,800円 機械設備 25,601,100円 電気設備 16,774,800円 <p>②外構工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 7,094,850円（3月28日完成） <p>④渡り廊下改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 504,000円（3月17日完成） <p>⑤備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 12,529,698円 	<p>建物を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>宮守中学校改修 整備事業</p>	<p>中学校再編成後の遠野西中学校の校舎となることから、給食搬入口の増築工事を実施し、平成25年4月からの給食搬送車の受入に備えた。</p> <p>また、トイレ天井の改修工事を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>①給食搬入口増築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額 14,430,150円（3月25日完成） <p>②トイレ天井改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額 438,375円（3月29日完成） 	<p>建物を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>プール改修事業 費</p>	<p>老朽化したプール設備を改修し、教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。</p> <p>①青笹中学校プール</p> <ul style="list-style-type: none"> ろ過器更新工事 ・契約額 8,539,650円（12月20日完成） プールサイド塗装工事 ・契約額 1,869,000円（6月22日完成） <p>②遠野中学校プール</p> <ul style="list-style-type: none"> シャワー用温水ボイラー設置 ・契約額 861,000円（12月21日完成） ろ過器の更新・配管の改修工事（繰越明許費） ・契約額 17,346,000円（6月15日完成） 	<p>施設を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>公共施設ロング ライフ事業</p>	<p>学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、教育環境の整備を迅速かつ効率的に進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設 80件：8,759,520円 ・中学校施設 48件：4,844,280円 （計 128件：13,603,800円） 	<p>設備の保守点検や学校巡回、学校との連携を通して、施設の適切な維持管理に努める。</p>

事業	成果	課題
【通学対策の充実】		
通学対策費	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等を運行し、遠距離から通学する児童・生徒の通学難の解消を図った。 また、遠距離から徒歩で通学する児童・生徒に対して通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ①小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・通学バス等運行委託料、管理費等 バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス1台（事業費 22,244,471円） ・遠距離通学費補助金（通学距離4km以上） 35名（事業費 268,800円） ②中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・通学バス等運行委託料、管理費等 バス3台（事業費 5,331,375円） ・遠距離通学費補助金（通学距離6km以上） 28名（事業費 193,880円） ・中学校再編成により遠距離通学となる生徒の通学手段を確保するため、スクールバス15台を購入した。 <ul style="list-style-type: none"> ・中型バス（2台） 29,610,000円 ・マイクロバス（4台） 21,420,000円 ・ワゴン車（9台） 26,167,995円 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校再編成に伴い、スクールバス通学の生徒が増えることから、安全でより良い運行体制を構築するために、運行委託業者と連携を図りながら検討を行うことが必要である。 ・スクールバス等を住民利用に供する活用方策については、関係課と連携を図りながら検討を行うことが必要である。
【教材の充実】		
教材整備費	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、児童・生徒用のパーソナルコンピュータを借り上げるなど、学習環境の充実に努めた。 ①小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、児童用図書、パソコン借上料、その他教材用消耗品等 18,837,809円 ②中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、生徒用図書、パソコン借上料、その他教材用消耗品等 14,259,944円 	児童・生徒が質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の充実を図る。
理科教育設備整備事業	<p>学習指導要領の改訂（小学校：平成23年度、中学校：平成24年度）に対応するため、平成21年度から継続して理科及び算数・数学に係る教育備品を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（4校） 989,040円 ・中学校（3校） 970,190円 	児童・生徒が質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の充実を図る。

事業	成果	課題
【教育費の支援】		
私立幼稚園保育料助成事業	<p>私立幼稚園に就園する園児の保育料に対する助成を行い、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1子（基準額から5%軽減） 46名 ・第2子（基準額から10%軽減） 39名 ・第3子以降（月額4,800円） 15名 <p>計100名（事業費 3,549,500円）</p>	保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全運営の支援に努める。
私立幼稚園就園奨励事業	<p>私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて、保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減し、就園奨励を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の園幼稚園42名、聖光幼稚園28名 <p>（計70名 事業費 8,306,700円）</p>	
就学援助費	<p>経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の平等な実施を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小学校：支給児童数 160名 （事業費 9,833,040円） ②中学校：支給生徒数 101名 （事業費 11,031,757円） 	就学援助制度の周知徹底を図り、すべての児童・生徒が義務教育を円滑に受けることができるよう努める。
【奨学資金の貸付】		
育英事業（貸付分）	<p>経済的な事由により修学が困難である優秀な学生89名に対して学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続大学生等 57名 ・継続高校生 1名 ・新規大学生等 31名 <p>（事業費 42,360,000円） ※平成24年度決算時滞納額 8,304,800円</p>	貸付金の滞納額が増加している状況にあることから、長期滞納者については、保証人及び連帯保証人への償還要請を行い、未償還となっている貸付金の回収に一層努める必要がある。

(I) 学校給食の充実

■総括

- ・ 成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、豊かな人間形成等の目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全・安心でおいしい給食の提供に努めました。
- ・ 給食の食材には遠野産の食材を積極的に利用し、地産地消を推進するとともに、「遠野旬を食べよう給食」の実施により、生産者との対話を通しながら郷土の食文化や地域で採れる農産物への理解を深めました。また、栄養教諭等が各学校を訪問して栄

養指導を行ったほか、食事のマナー等の意識付けを推進しました。

- ・ 遠野・宮守両学校給食センターの老朽化に伴い、学校給食のほか、食育の推進、地産地消の推進、高齢者への配食サービス、災害時の炊き出しサービスの機能を備えた市民の健康を「食」で支える拠点として、「遠野市総合食育センター」を整備しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
食育及び地産地消給食の推進	<p>栄養バランスのとれた季節感のある給食を提供することができた。食材には遠野産の農産物を多く取り入れ、地場産物の使用割合を高め、消費の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産物の使用割合 目標 65.0% 実績 69.5% ・ 事業費 235,353,778円 	<p>冬期間における地場産の食材の確保が難しい。</p>
	<p>食育と地産地消を推進する活動の一環として、「遠野旬を食べよう給食」を実施し、遠野産の食材にこだわった給食を提供するとともに、農業生産者や給食センター職員が学校を訪問し、児童・生徒と食の大切さや地域の食文化等について語り合うことにより、児童・生徒が食に対する理解を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施時期及び実施校 6月 土淵小学校、鱒沢小学校 7月 附馬牛中学校、宮守中学校 9月 綾織中学校 10月 上郷中学校、宮守小学校 11月 小友小学校、達曾部小学校 12月 綾織小学校 ・ 事業費 1,799,695円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜等が不足する時期の献立について、内容の工夫を図る必要がある。 ・ 平成15年度から継続して実施している事業であることから、さらなる内容の充実を図る必要がある。
学校訪問及び栄養指導の推進	<p>学校との連携を密にし、栄養教諭及び学校栄養職員が食育及び栄養に関する指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠野学校給食センター 各学校 年2回 学校訪問26回 ・ 宮守学校給食センター 各学級 年1回 学級訪問26回 	<p>食育センター施設の見学等も含めて、効果的な栄養指導のあり方を検討していく必要がある。</p>
総合食育センターの整備	<p>本市における食育と地産地消の拠点としての「総合食育センター」の建築工事及び建築附帯施設（厨房機器）工事が完了し、平成25年4月から学校給食の提供を開始するため、配送車両（5台）、調理器具及び事務什器等の備品を整備した。</p>	<p>平成25年11月の全面供用開始に向け、整備工事が遅滞なく完成するよう、事業の進行管理の徹底を図る。</p>

ウ 生涯学習の推進

■総括

- 子どもたちの「知・徳・体」を総合的に育む人間形成には、家庭や地域社会がそれぞれの教育的機能を発揮し、学校と一体となって子どもたちの教育に当たることが重要となることから、家庭や地域社会の教育力の充実を図るため、市内小学校単位で組織されている地域教育協議会の実践活動を支援し、子ども、親、学校、地域、行政の5者の連携により、教育振興運動の共通課題である「家庭学習の充実」「読書活動の推進」に取り組むとともに、市内全小学校区で実施している「放課後子ども教室」を継続し、家庭学習の習慣化による学習意欲の向上に努めました。
- 自然とのふれあいにより、ふるさとの良さを発見する「少年少女ふるさと発見探偵団」や他地域の子どもの交流活動、地域での世代間交流など、様々な体験活動を通して、人との関わり方や思いやりのある心の育成に努めました。
- アメリカ・テネシー州チャタヌーガ市の中学生の海外交流事業への支援を通して、国際性豊かな人材の育成を図りました。

■成果と課題

事業	成果	課題
生涯学習のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">広報遠野の「学びのいずみ」や市ホームページにより生涯学習情報を定期的に市民に提供し、効率的に講座を開催することができた。市民センター及び各地区センターにおいて各種講座を開催し、生涯学習の推進に努めた。『市民協働企画 私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」』の活動を支援することにより、市民協働による学習機会を充実させることができた。	<ul style="list-style-type: none">市民ニーズの把握に一層努めるとともに、講座の充実を図っていく必要がある。今後も、定期的かつ継続的に学習機会を提供していく必要がある。
地域教育文化振興事業	<ul style="list-style-type: none">「地域で子供を育てる活動発表会」と併せ岩手大学生涯学習フォーラムを開催し、多くのPTA、教員に家庭、地域でのつながりについて学習機会を提供することができた。小・中学校との連携による「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で開催したことにより、家庭読書や生活リズムの学習の機会を保護者等に提供することができた。	講座の内容をさらに充実させ、参加者数を増やしていく必要がある。

事業	成果	課題
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年ふるさと発見探偵団での様々な体験活動を通して、児童が集団の中で互いに協調しながら交流を深めることができた。 ・青少年囲碁・将棋教室を開催し、囲碁・将棋の対局を通して、児童・生徒と地域の指導者等との交流を深めた。 ・放課後子ども教室を全小学校区で実施し、児童の安全な放課後の居場所づくりや自主学習・家庭学習の習慣づけに寄与した。 ・「地域の子どもは地域で守る」を念頭に、少年センターを中心として、関係機関・団体・地域が連携し、少年の非行防止・環境浄化活動に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと発見探偵団の活動の充実に努める必要がある。 ・放課後子ども教室を継続し、児童の家庭学習・自主学習の習慣化を図っていく必要がある。 ・市民に対し、非行防止や環境浄化の意識の啓発を図り、青少年の健全育成を図っていく必要がある。
都市交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都武蔵野市に児童20名を派遣し、児童の相互の交流を深めた。 ・姉妹都市であるイタリア・サレルノ市のサレルノ国際映画祭に「遠野賞」として切り絵を贈呈した。 ・平成26年度で姉妹都市締結30周年を迎えるイタリア・サレルノ市への市民訪問ツアーPRに係るチラシを印刷し、市民等への事業の周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生海外交流事業について、検討する必要がある。 ・平成26年にサレルノ市との姉妹都市締結30周年を控えていることから、準備等を進めていく必要がある。
芸術文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ○歌舞候「わ組」公演 ○わらび座舞踊舞台「遠野物語」公演 ○遠野市民センターバレエスタジオ開設35周年記念公演 ・遠野市民センターバレエスタジオ、遠野青少年少女合唱隊の活動を支援するとともに、発表会を開催し、児童・生徒の情操教育等に寄与した。 ・第38回遠野物語ファンタジー「～高清水・妖かし物語～ぼんず」を開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代がキャスト、スタッフ等として参加することにより、市民協働による舞台をつくりあげることができた。 ・市芸術文化協会加盟団体の自主事業の開催に対する支援を行うとともに、市民芸術祭（合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会及び菊花展）を開催し、芸術文化団体等が日頃の成果を披露する機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の開催に当たっては、住民ニーズ等の把握に一層努めていく必要がある。 ・バレエスタジオ及び青少年少女合唱隊については、より効果的な運営を展開することができるよう、受講生の確保に努める必要がある。 ・遠野物語ファンタジーについては、多くの市民が参加することのできる体制を今後も維持していく必要がある。

エ ふるさとの文化の継承・創造

■総括

- ・ 文化財は先人の営みを知る大切な遺産であることから、これを調査・保護し後世に確実に継承していくことを基本に据え、文化財への理解と関心を深める学習機会の充実を図りました。
- ・ 国指定重要文化財「千葉家住宅」の保護と管理及び修復保全のための調査や、土淵町山口集落に係る国の重要文化的景観の選定に向けた保存調査に取り組むなど文化財の保護に努めました。

■成果と課題

事業	成果	課題
文化財調査保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登坂家住宅及び庭園等、11件を市指定文化財として新たに指定したほか、市指定文化財早池峯神社神門の屋根葺替工事に対し5,491,000円を補助し、文化財の保護に努めた。 ・ 塚沢神楽など5団体の映像記録を作成するとともに、備品購入に要する経費に対する補助を行うなど、郷土芸能文化の継承に努めた。 	文化財調査・保護と郷土芸能の活動・育成支援を継続し、郷土の文化継承、発展に一層努めていく必要がある。
埋蔵文化財発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅建築に先立ち栃内野崎遺跡の本発掘調査を実施し、開発事業との調整を円滑に進め、埋蔵文化財を保護した。 ・ 小中学生と保護者を対象に、土器作りや勾玉作りなどの文化財体験教室を開催し、埋蔵文化財に親しみながら学習する機会を与えた。 	各種開発と埋蔵文化財保護の調整に努め、遺物や調査記録の適正な管理・公開活用を継続していく必要がある。
文化的景観保存事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『遠野物語』ゆかりの地である「遠野土淵山口集落」の重要文化的景観選定に向けた学術調査、保存調査委員会開催、地元住民との協議等を経て、国に重要文化的景観として追加選定の申出を行い、平成25年3月27日付けで選定を受けた。 ・ 調査及び地元住民との協議内容等を整理し調査報告書、保存計画書としてまとめ、関係機関等に配布した。 	各種調査等を今後も継続していく必要がある。 選定後の景観保護と修景に対して支援していく必要がある。
千葉家重要文化財指定整備活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国指定重要文化財「千葉家住宅」の公有化に向け、取得予定の土地18筆、建物12棟、それに付随する工作物77ヵ所、立木19,222本及び収蔵品699項目の再鑑定評価を行った。 ・ 東日本大震災により崩落した重要文化財千葉家住宅の石垣の修復を行った。 	公有化に向けて、必要な事務手続きを推進するとともに、全体的修理、防災、活用について検討していく必要がある。

(2) 平成24年度に実施した事務事業の点検及び評価

ア 点検及び評価の概要

「遠野市総合計画後期基本計画」（平成23年度～平成27年度）では、市民主体の行政運営を推進するため、計画の進捗状況を数値で示した 141のまちづくり指標について、年度ごとに段階的に目標値を設定し、その達成状況を毎年度公表することとしています。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に当たっては、**教育委員会の権限に関する事務に関連する19のまちづくり指標及びこれに関連する事業について外部評価を実施**しました。

また、**平成24年度に教育委員会が実施した84の事務事業の点検及び評価を行うため、それぞれの事務事業の内容と計画値、その成果と実績値などをまとめた成果説明書を作成**しました。

イ 総合計画後期基本計画まちづくり指標の点検及び評価

総合計画後期基本計画まちづくり指標のうち教育委員会の権限に属する事務に関連する19の指標について、**平成24年度における目標値に対する実績値の割合から達成率を算出し、**

- ①達成（達成率 100%以上）
- ②概ね達成（達成率90%以上 100%未満）
- ③未達成（達成率90%未満）

の3段階に区分し、資料編【資料1】平成24年度総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）実績一覧表としてまとめました。

【平成24年度総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）総括表】

項目	平成24年度 (後期基本計画)				平成23年度 (後期基本計画)			
	指標数		率 (%)		指標数		率 (%)	
まちづくり指標の数	19		100		19		100	
達成（達成率 100%以上）	9	16	47.5	84.2	9	18	47.5	95
概ね達成（達成率90%以上 100%未満）	7		36.7		9		47.5	
未達成（達成率90%未満）	3	3	15.8	15.8	1	1	5	5

【点検及び評価】

- (1) 「**達成**」であった指標は次の9指標であり、指標全体の47.5%に当たります。

これらの指標については、目標値を上回っており、関連事業においても着実な進展が図られていることから、今後もこれを継続していくため、さらに取組内容の充実を図っていく必要があります。

単位：％

No.	指標名	達成率	備考
4	姉妹都市への市民派遣数	106.7	
9	学校給食食材に占める地場産物使用割合	106.9	
10	市民センター施設の利用件数	115.1	スポーツ施設除く
14	家庭教育講座等の延べ参加者数	122.0	
15	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	125.0	
16	市民協働の芸術文化事業の参加者数	120.7	
17	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	117.5	
18	指定文化財説明板設置件数	123.2	累計
19	民俗芸能の映像記録件数	100.0	累計

(2) **「概ね達成」であった指標は次の7指標で、指標全体の36.7%**に当たります。

学習定着度状況調査（小学校）、全講座における継続的な学習機会の割合、市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数の3指標は、平成23年度は目標を上回っていましたが、24年度はやや下回りました。

しかし、7指標ともに達成率は微減したものの、94%以上と高い達成率であり、概ね目標値に近い値となっています。

単位：％

No.	指標名	達成率	備考
2	老人クラブ加入者数	95.8	累計
5	小学校標準学力検査偏差値	98.3	
6	中学校標準学力検査偏差値	96.0	
7	学習定着度状況調査	96.9	小学校
8	学習定着度状況調査	94.1	中学校
12	全講座における継続的な学習機会の割合	96.5	
13	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	94.8	

(4) **「未達成」であった指標は次の3指標で、指標全体の15.8%**に当たります。

スポーツ施設利用者数については、運動公園野球場及び多目的運動広場が沿岸被災地の後方支援拠点として使用した後の復旧整備のため1年間使用できなかったこと及び市民プールの天井整備により平成24年9月以降使用できなかったことから、利用者数が大幅に減少しました。

中学生・高校生の海外派遣数については、平成23年2月に発生したカンタベリー地震の影響により、高校生のニュージーランド・クライストチャーチ市からの受入事業が中

止となったことから、目標値を下回る結果となりました。

市民センター施設の利用者数については、大ホールの集客人数が減少したため、目標値を上回ることができませんでした。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する必要があります。

単位：％

No.	指標名	達成率	備考
1	スポーツ施設利用者数	89.4	
3	中学生・高校生の海外派遣数	63.3	
11	市民センター施設の利用者数	87.8	スポーツ施設除く

ウ 平成24年度に実施した84事務事業の点検及び評価

平成24年度に遠野市教育委員会が実施した84の事務事業の点検及び評価を行うため、個々の事務事業の内容・計画値・予算額とその成果・実績値・決算額を、資料編【資料2】**平成24年度事務事業成果説明書（教育委員会84事務事業）**としてまとめました。

エ 外部評価の結果

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による外部評価については、平成25年12月18日（水）に「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成24年度実施分）の点検・評価会議」を開催し、**学識経験を有する5名の評価員に、総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）の達成状況及びこれに関連する事業の実施状況について、次のとおり評価、意見等をいただきました。**

外部評価員（5名）

氏名	所属機関・役職名
伊藤 栄	校長会会長
小笠原 仁子	スポーツ少年団グランレーヴ指導者
新田 光志	遠野市芸術文化協会事務局長
佐藤 倉造	遠野市民センター運営協議会会長
河野 美代子	遠野町地域教育協議会会長

点検・評価会議における主な評価、意見等

■いただいた主な評価、意見等	■事務局からの主な回答
【標準学力検査偏差値及び学習定着度状況調査について】	
<p>○小学校の学力検査で5年生の成績がよくないようだが、何か原因があるのか。 (河野美代子)</p> <p>○小学校において県平均を上回っている学校が5校あるが、学校の規模による差異はあるのか。 (河野美代子)</p> <p>○今の時代は、学力向上は至難の業であると思う。 秋田県のある村では家庭学習で大学ノート年間17冊やっているところがある。学校教育や社会教育等あるが、教育はやはり家庭だと思う。 (佐藤倉造)</p>	<p>○原因として、5年生の時のテストは内容が4年生である。その時期はいわゆるギャングエイジと呼ばれる発達段階が原因としてあるのではないかと考える。しかし、同じ児童たちが今年度の結果は上がっている。5年生6年生となるにつれてギャングエイジの時期が終わり、落ち着くことで成績の上昇につながっているのではないかと考える。</p> <p>○小規模校だから細かい授業ができて成績が良いといったような、学校規模校による差異は見られない。</p> <p>○学校と家庭との連携と、生涯学習の側面が考えられる。学校教育としては、授業改善にスタンスを置く。その中で、今足りないものを家庭学習として与えていくという大きな流れで考えている。</p>
【外国語指導助手（ALT）について】	
<p>○ALTが2人体制から1人になったということですが、市内の人でも補充できなかったのか。 (河野美代子)</p> <p>○市内のある小学校では年7回から8回来ていただいておりますが、時間を増やすことはできないか。子供のころから外国人と接していれば臆することなくグローバルな感覚が身につくと思う。できれば、日本語が堪能な人がいい。 (伊藤栄)</p>	<p>○2人のALTは直接雇用していたが、十分な研修などを積んでいない人もいたため、その時々で資質に差があった。人材派遣を受けることにより、ある一定の研修などを受けた人材が派遣されるようになり、標準以上の活用が見込まれている。1人体制になったのは、中学校が減ったことにより1人でも対応できると見込んで1人にしている。中学校ではこのことによる回数減はない。</p> <p>○ALTの派遣には若干の余裕があるので、各校に要望を取りながらできるだけニーズに沿って対応していきたい。日本語に関してはもちろんその通りなので派遣元と協議し、できるだけそのような形にしたい。</p>

【チャレンジ徒歩通学について】

○児童の体力向上が図られたとなっているが、スクールバスを使っている学校は、半数の児童が利用しているので、その観点から効果に疑問が残る。年度初めの温かい時期に実施すれば、高学年が低学年を指導しながらでもできるかと思う。

(伊藤栄)

○来年度からは体力向上を目的にしたいということだが、月間を設けるということは、学校には歩いて通うということが目的と思うが、いままで各小学校でどれくらいの生徒が徒歩通学したかデータはあるか。

(小笠原仁子)

○毎年10月を強化月間として実施しているが、スクールバスの利用が多いのは鱒沢小学校や小友小学校など数校があり、たとえば土淵ではスクールバスを手前で降りて徒歩で通学するとか、小友や附馬牛では徒歩通学ができない分、グラウンドを歩くなどの工夫をしている。来年度は体力強化として考えているので、チャレンジ徒歩通学は名前がそぐわないと考えている。児童生徒の体力向上に努めていきたい。

○平成24年については児童数1,337人中、目標達成が1,090人で達成率が82%となっている。例えば学校までのキロ数の看板や、歩数計を配布して歩数を競うなどすれば、子供たちに張り合いが出るのではないといわれている。体力向上を考えながら取り組んでいきたい。

【芸術文化振興事業について】

○成果のなかで、開催回数が例年や施設規模として多いのか少ないのか。また、入場者数で実績を出しているが、芸術文化事業とは、遠野のような人口の少ないところで、普段触れることができないような芸術文化にふれられるよう比較的安い金額で企画していくことが大事ではないかと思う。満席になれば成果が出たということではなく、今後どのように考えていくのか。

(新田光志)

○芸術文化の僻地にしないように頑張っていたきたい。市民の協力も必要だと思う。

(佐藤倉造)

○事業の決定には、芸術文化協会と協議して翌年の事業を決定しているが、大ホール事業が少し多くなっている。来場した観客が、満足してもらえればいいと思う。満席になればそれに越したことはないが、人口が減少している状況から大変難しい。芸術文化に触れることは必要と思っているので、PRしながら大勢の人に観覧の機会を用意したい。公演等の回数は、大規模なものだけでなく、小規模な講演も含め、各種団体の活用促進を進めていきたいと考えている。

■その他の意見等

○教育委員会と施設管理サービスの連携がいいのでとても良い。すぐに要望に応じてくれ、いろいろな学校にいったが、こんなところはなかったのでとてもいいと思う。

(伊藤栄)

○就学援助費で、援助の必要な家庭が児童及び生徒の総数に比してどれくらいあるか。

(新田光志)

○「体育指導員」が今年から「スポーツ推進員」に名称が変わったが、スポーツイベント等のお手伝いはしているようだが、事業をしていないので、活動が見えないと感じている。

(小笠原仁子)

○体育の時間に必ず3分でも5分でもいいから走らせることを実践した教員がいて、1年間でだいぶ走れる様になったと言っていた。徒歩だけでなく、いろいろな工夫が必要ではないかと思う。

(河野美代子)

○千葉家の重要文化財があるが、将来的に社会科見学等に利用できるのか。

(伊藤栄)

○中学校再編で校歌の制作に携わった。ありがたく思っている。地域にはいろいろな人材がいて、こういった人たちが遠野にいることを生徒たちに知らせることができてよかったと思っている。

(新田光志)

○放課後子どもプラン事業について、たとえば水泳指導とか陸上指導とかの時期になると4年生以上に職員が総出で指導に当たるので、3年生以下の子供たちが、スクールバスを待っている間、安全に過ごすことができるのが大変良い。

(伊藤栄)

○資料編

【資料1】

平成24年度総合計画後期基本計画まちづくり指標

(教育委員会19指標) 実績一覧表

【資料2】

平成24年度事務事業成果説明書

(教育委員会84事務事業)

平成24年度総合計画後期基本計画 まちづくり指標(教育委員会19指標)実績一覧表

No.	まちづくり指標 指標名	単位	前年度 実績値	24年度		達成状況	達成率 (%)	成果・評価
				目標値	実績値			
1	スポーツ施設利用者数	人	215,070	216,700	193,801	未達成	89.4	運動公園野球場及び多目的運動広場は、災害使用時の整備のため一年間使用できなかった。また、市民プールも天井整備により9月以降使用できなかったため、利用者は大幅な減少となった。しかし、大半の施設は、前年に比べ概ね利用者数が増加しており、震災前の利用者数と同等となっている。今後も、競技スポーツ、健康づくりの推進を図っていく。
2	老人クラブ加入者数(累計)	人	3,093	3,170	3,038	概ね達成	95.8	加入者が年々減少してきている要因は、高齢になり行事等に参加が難しくなり脱退していく人や組織的拘束をきらうため加入しない人が多くなっているためである。活動の内容が理解できるようなチラシ配布やスポーツ大会等の交流事業に参加するように声掛け等を行い新規加入者を増やしていく。
3	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	14	9	未達成	64.3	アメリカ・チャタヌーガ市へ中学生(生徒9人、引率2人)の海外派遣を実施した。また、遠野高校においてはニュージーランド・クライストチャーチ市と隔年で高校生の派遣と受入をすることとしているが、24年度は、地震の影響で中止となった。
4	姉妹都市への市民派遣数	人	16	15	(16)	達成	(106.7)	24年度の派遣予定を前倒して23年度に実施したことによる(外務省の助成事業を利用し、細越獅子踊り保存会によるマルセイユ(フランス)、ローマ、サレルノ(イタリア)でのしし踊り公演へ16名派遣した)。
5	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	52.5	53.3	52.4	概ね達成	98.3	全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内小学校11校において、2年生では11校、3年生では10校、4年生では8校、5年生では3校、6年生では9校が全国平均を上回っている状況である。各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。
6	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	49.1	50.5	48.5	概ね達成	96.0	全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内中学校8校において、1年生では5校、2年生では3校、3年生では4校が全国平均を上回っている状況である。各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。
7	学習定着度状況調査(小学校)	平均点	(+2.1) 72.6	73.4	(-0.6) 71.1	概ね達成	96.9	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は、71.7点である。目標値は、県平均点を1.7ポイント上回る73.4である。全体としては、目標を達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内小学校11校において、4年生では4校、5年生では4校が県平均点を上回っている状況である。各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでいる。 * 括弧内の数値は、県平均との差。
8	学習定着度状況調査(中学校)	平均点	(-2.7) 58.4	57.8	(-3.0) 54.4	概ね達成	94.1	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は、57.4点である。目標値は、県平均点を0.4ポイント上回る57.8である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内中学校8校において、1年生では5校、2年生でも5校が県平均点を上回っている状況である。各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでいる。 * 括弧内の数値は、県平均との差。
9	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	65.3	65.0	69.5	達成	106.9	年間を通して、給食メニューの工夫を図るとともに、産直組合と連携しながら地場産物を積極的に取り入れ、遠野産食材の使用に努めたことにより、目標値を上回ることができた。
10	市民センター施設の利用件数(スポーツ施設除く)	件	4,859	4,050	4,662	達成	115.1	各種サークル、団体の活動拠点として利用されている。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する。
11	市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く)	人	162,890	175,000	153,731	未達成	87.8	大ホールの集客人数が減少したため、目標値を上回ることができなかった。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する。
12	全講座における継続的な学習機会の割合	%	41.1	40.0	38.6	概ね達成	96.5	多様な市民のニーズに対し多くの人が参加しやすいように地区センターと連携し講座を企画した。今後も市民が参加しやすいように企画し、計画的に講座を開催する。
13	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	5,062	4,760	4,513	概ね達成	94.8	各地区センター、市民センターで市民が参加しやすいような講座を企画し開催した。今後は、教育文化振興財団と地区センターと連携して計画的に講座を開催する。
14	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,214	900	1,098	達成	122.0	学校、保護者、各町の地域教育協議会と連携し「家庭教育セミナー」、「地域で子どもを育てる活動発表会」を開催した。今後も参加者を増やしていきたいよう地域関係団体と連携して実施していく。
15	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	11	12	15	達成	125.0	市民センター大ホールで6回、みやもりホールで5回、あえりあ遠野交流ホールで1回、あえりあ遠野語り部ホールで2回、遠野まちなかギャラリーで1回(15日間)の開催であった。前年度と比較すると増加しており、活発な展開が図られた。
16	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	2,027	1,900	2,293	達成	120.7	各種芸術文化事業において計画を下回った事業も若干あったが、前年度と比較すると全体的には増加しており、活発な展開が図られた。計画を下回った事業の参加者数については、今後も市民とともに企画・実施し増加に努める。
17	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	7,508	8,250	9,693	達成	117.5	市民協働の芸術文化事業の参加者数と同様に、各種芸術文化事業において計画を下回った事業も若干あったが、前年度と比較すると全体的には増加しており、活発な展開が図られた。計画を下回った事業の鑑賞者数については、今後も市民とともに企画・実施し増加に努める。
18	指定文化財説明板設置件数(累計)	基	45	56	69	達成	123.2	計画を前倒して実施した。今後も老朽化等の理由により必要となる説明板について計画的に設置し、指定文化財の周知と啓蒙に資する。
19	民俗芸能の映像記録件数(累計)	件	19	20	20	達成	100.0	一件づつではあるが堅実に映像記録の目的を達成した。今後は映像記録の優先順位について検討する。

【未達成のまちづくり指標(3指標)の分析】

No.	まちづくり指標 指標名	未達成となった現状の分析	要因	今後の見通し
1	スポーツ施設利用者数	運動公園の沿岸被災地の後方支援拠点として使用した後の復旧整備及び市民プールの天井整備により、施設を利用できなかった。	外部 要因	運動公園は災害時の後方支援拠点として役割を果たすことができた。市民プールなどスポーツ施設も老朽化していることから、施設の保守点検など維持管理に一層努める必要がある。
2	中学生・高校生の海外派遣数	平成23年2月にニュージーランドで発生したカンタベリー地震の影響により、高校生の受入事業が中止となった。	外部 要因	高校生の海外派遣については、その実施内容などについて、さらなる充実を図っていく必要がある。
3	市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く)	大ホールの集客人数が減少したため	指 標 定	優れた芸術にふれる機会や市民の舞台「遠野物語ファンタジー」など、各種団体の活動を支援し、潤いのある市民生活と創造豊かな感性を備えた人材の育成に今後も一層努める必要がある。

平成24年度事務事業成果説明書一覧表

資料2

No.	款	項	目	事業名
1	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）
2	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）
3	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（公民館）
4	3	1	3	高齢者スポーツ大会費
5	3	1	3	老人クラブ育成指導費
6	3	2	1	青少年健全育成活動事業費
7	4	1	5	健康スポーツプログラム推進事業費
8	5	1	1	勤労青少年ホーム運営事業費
9	5	1	3	児童生徒の学校生活向上推進事業費
10	10	1	1	教育委員会費
11	10	1	2	地域教育文化振興事業費
12	10	1	2	事務局一般事務費
13	10	1	2	私立幼稚園運営費補助金
14	10	1	2	私立幼稚園就園奨励事業費
15	10	1	2	私立幼稚園保育料助成事業費
16	10	1	2	教育環境企画費
17	10	1	2	学校教育一般事務費
18	10	1	2	文化行事奨励費
19	10	1	2	外国人講師招へい事業費
20	10	1	2	就学指導委員会費
21	10	1	2	学校教育専門員配置事業費
22	10	1	2	特色ある学校づくり事業費
23	10	1	2	平成・南部藩寺子屋交流事業費
24	10	1	2	特別支援教育推進事業費
25	10	1	2	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費
26	10	1	2	遠野市立中学校再編成事業費
27	10	1	2	いわての復興教育学校支援事業費
28	10	1	3	教育研究所費
29	10	1	4	育英事業費
30	10	1	5	公舎管理費
31	10	2	1	小学校管理費
32	10	2	1	学校保健管理費（小学校）
33	10	2	2	通学対策費（小学校）
34	10	2	2	教材整備費（小学校）
35	10	2	2	就学援助費（小学校）
36	10	2	2	特別支援教育関係費（小学校）
37	10	2	2	特別支援教育就学奨励費（小学校）
38	10	2	2	理科教育設備整備事業費（小学校）
39	10	2	2	体育・文化行事奨励費（小学校）
40	10	2	2	教育研究指定校費（小学校）
41	10	2	3	遠野小学校屋内運動場改築整備事業費（繰越明許費）
42	10	3	1	中学校管理費

No.	款	項	目	事業名
43	10	3	1	学校保健管理費（中学校）
44	10	3	2	通学対策費（中学校）
45	10	3	2	教材整備費（中学校）
46	10	3	2	就学援助費（中学校）
47	10	3	2	特別支援教育関係費（中学校）
48	10	3	2	特別支援教育就学奨励費（中学校）
49	10	3	2	理科教育設備整備事業費（中学校）
50	10	3	2	体育・文化行事奨励費（中学校）
51	10	3	3	遠野中学校改築整備事業費（継続費）
52	10	3	3	プール改修事業費
53	10	3	3	プール改修事業費（繰越明許費）
54	10	3	3	宮守中学校改修整備事業費
55	10	3	3	青笹中学校増築整備事業費
56	10	3	3	青笹中学校増築整備事業費（繰越明許費）
57	10	3	3	太陽光発電整備事業費
58	10	4	1	幼稚園運営事業費
59	10	5	1	生涯学習一般事務費
60	10	5	1	生涯学習のまちづくり推進費
61	10	5	1	青少年活動サポート事業費
62	10	5	1	芸術文化振興事業費
63	10	5	1	と・お・のいきいき参画プラン推進事業費
64	10	5	1	都市交流推進事業費
65	10	5	1	少年少女ふるさと発見探偵団育成事業費
66	10	5	1	放課後子どもプラン推進事業費
67	10	5	2	公民館一般管理費
68	10	5	2	文化交流施設管理費
69	10	5	2	公民館一般管理費（繰越明許費）
70	10	5	5	文化財調査保護費
71	10	5	5	埋蔵文化財発掘調査費
72	10	5	5	文化的景観保存事業費
73	10	5	5	千葉家重要文化財指定整備活用事業費
74	10	5	5	千葉家重要文化財指定整備活用事業費（繰越明許費）
75	10	6	1	スポーツ振興一般事務費
76	10	6	1	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費
77	10	6	1	岩手国体施設整備調査事業費
78	10	6	2	学校給食事業費
79	10	6	2	ふるさと食材給食事業費
80	10	6	3	体育施設管理費
81	10	6	3	体育施設管理費（繰越明許費）
82	10	6	3	健康増進体育施設整備事業費（繰越明許費）
83	10	6	4	食べ物が育てる元気な遠野っ子事業費
84	10	6	4	総合食育センター整備事業費（継続費）

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）			No. 1	単位：円
事業内容	小学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。			計画値	対象施設 小学校 11校	
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など小学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数80件：8,759,520円 遠野小学校屋外フェンス張替修理（暴風雪被害） 青笹小学校屋内運動場誘導灯修理 鱒沢小学校黒板張替（複式学級対応のため）等			実績値	修繕実施施設 小学校 11校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
8,839,000	8,759,520					8,759,520

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）			No. 2	単位：円
事業内容	中学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。			計画値	対象施設 中学校 8校	
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など中学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数48件：4,844,280円 遠野・上郷・宮守中学校バスケットコートライン書換 土淵中学校廊下修繕 青笹中学校自転車置場撤去（暴風雪被害）等			実績値	修繕実施施設 中学校 8校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,968,000	4,844,280					4,844,280

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業費（公民館）			No. 3	単位：円
事業内容	地区センター（公民館）施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ快適な環境の整備に資する。			計画値	対象施設 地区センター 6施設 宮守地区 4施設 計 10施設	
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、地区センター（公民館）施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数24件：1,343,790円 上郷地区センター体育館外壁修繕 綾織地区センター事務室雨漏り修繕 等			実績値	維持修繕件数 24件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,350,000	1,343,790					1,343,790

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費		
事業名		高齢者スポーツ大会費			No. 4	単位：円	
事業内容	高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。			計画値	大会数 5回 参加者数 1,500人		
	成果	遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、スポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 ・第7回ゲートボールベタシ大会（5月30日、287人参加） ・第7回さわやかスポーツ大会（7月20日、855人参加） ・第7回グランド・ゴルフ大会（8月26日、88人参加） ・いきいきシルバースポーツ大会（県大会）（9月15日、47人参加） ・第7回シルバー室内競技大会（3月2日、488人参加）			実績値	大会数 5回 参加者数 1,765人	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
		606,000		400,039		国県支出金 地方債 その他 一般財源	
						400,039	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費		
事業名		老人クラブ育成指導費			No. 5	単位：円	
事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。			計画値	単位クラブ数 68団体 事業回数 5回 会員数 3,170人		
	成果	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 ・第44回岩手県老人クラブ大会参加（10月11日、16人参加） ・第7回シルバー文化祭（展示部門、11月3日～4日）作品545点 ・第7回シルバー文化祭（舞台部門、11月16日）参加者700人 ・「遠野今昔～山ひだに生きる（第7集）」1,000部発刊 ・リーダー研修会（1月15日）参加者194名 ・第7回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月12日）			実績値	単位クラブ数 68団体 事業回数 5回 会員数 3,038人	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
		2,968,000		2,911,654		国県支出金 地方債 その他 一般財源	
						1,903,000 1,008,654	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児 童 福 祉 総 務 費		
事業名		青少年健全育成活動事業費			No. 6	単位：円	
事業内容	青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。			計画値	少年委員活動回数 延880回		
	成果	少年委員を市内全部で88人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等との連携体制をとった。 通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、合同補導を実施した。補導日数は214日であった。 有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。			実績値	少年委員活動回数 延731回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
		3,615,000		3,245,295		国県支出金 地方債 その他 一般財源	
						3,245,295	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費	
事業名		健康スポーツプログラム推進事業費			No. 7	単位：円
事業内容	1 遠野市健康づくり総合大学とすばは、市民センターを本校とし、スポーツ、保健、生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践。市内9地区センターをサテライト校とし、地域の実情に応じた健康づくり活動を実践。			計画値	健康づくり教室 ・本校 96回 ・サテライト校 83回 ・とすば大学祭 1回 チャレンジ徒歩通学 11校 キッズ元気アップ応援隊 13園	
	2 子どもの体力、運動能力の向上を目指すとともに、生活習慣の改善を図る。 ・チャレンジ徒歩通学の推進 ・キッズ元気アップ応援隊による園児の体力・運動能力向上の推進					
成果	1 本校及びサテライト校で各種健康教室を実践した。市民からは、健康づくり教室に参加し、体調も良いとの声も聞かれた。また、回数を増やしてほしいとの要望もあり、健康づくりに関する意識が高まってきている。			実績値	健康づくり教室 ・本校 95回 ・サテライト校 69回 ・とすば大学祭 1回 チャレンジ徒歩通学 11校実施 キッズ元気アップ応援隊 13園実施	
	2 10月をチャレンジ徒歩通学強化月間とし、市内全小学校 1,337人を対象に実施し、児童の体力向上が図られた。また、キッズ元気アップ応援隊は、保育園（13園）へ講師を派遣し、様々な運動を体験させることで、運動することの楽しさを体感させることができた。					
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,848,000	3,014,671			448,700	2,565,971	

5 款	労 働 費	1 項	労 働 諸 費	1 目	勤労青少年ホーム管理費	
事業名		勤労青少年ホーム運営事業費			No. 8	単位：円
事業内容	①定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導（定期利用団体8団体） ②遠野市勤労青少年ホーム夜間管理委託 当ホームを遠野市青年団体協議会に平成24年4月1日～平成25年3月31日までの年間120日、1日3,000円で夜間管理委託している。 ③勤労青少年ホームの維持・管理に係る業務の実施 施設内清掃業務委託、自動扉保守管理業務委託等。			計画値	定期利用申請団体の利用8団体	
	・定期利用団体の活動に対し、施設の使用等の指導・助言をした。年間を通して、音楽室・集会室など1,678回の使用があり、延べ14,388人が利用。 ・遠野市勤労青少年フットサル大会への共催 ・県内勤労青少年ホームとの交流。 ①遠野市青年団体協議会定期総会。 ②青年団体協議会の活動への助成。				定期利用申請団体 ・絵画・創作サークル ・書道サークル ・英会話サークル ・合唱サークル ・バンド4団体	
成果				実績値		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
4,477,000	4,372,147				4,372,147	

5 款	労 働 費	1 項	労 働 諸 費	3 目	雇用対策費	
事業名		緊急雇用創出事業…児童生徒の学校生活向上推進事業			No. 9	単位：円
事業内容	個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活上の支援を行うため、学校生活推進員2人を配置する。			計画値	雇用者数 2人	
	市内小中学校に学校生活推進員2人を配置し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒に対し、生活上・学習上の支援を行った。そのことにより、当該児童生徒は学校及び学級の中で、学校生活を過ごすことができた。				雇用者数 2人	
成果				実績値		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
5,000,000	4,852,578	4,852,578			0	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	1 目	教 育 委 員 会 費	
事業名		教育委員会費			No.10	単位：円
事業内容	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条に規定する教育に関する事務を管理し、及び執行する。			計画値	定例会開催 12回 臨時会開催 随時 委員協議会開催 随時	
成果	教育委員会定例会及び臨時会並びに委員協議会を開催し、教育行政の推進を図った。 定例会及び臨時会では、35件の議案を審議した。 また、委員協議会では、2件の案件について協議を行った。 ・教育委員会委員報酬（教育長を除く4名） 2,656,800円 ・教育委員会費（旅費、会議出席負担金等） 363,239円			実績値	定例会開催 12回 臨時会開催 6回 委員協議会開催 2回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,303,000	3,020,039				3,020,039	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		地域教育文化振興事業費			No.11	単位：円
事業内容	家庭における教育を支援することを目的に家庭教育に関する学習機会の提供と充実を図る。 ・「家庭教育ゼミナール」の開催			計画値	家庭教育ゼミナール開催 12回 家庭教育ゼミナール参加者 900人 家庭教育講演会 1回	
成果	・当課の事業の一つである「地域で子供を育てる活動発表会」の中で岩手大学生涯学習フォーラムを同時開催し、多くのPTA、教員に家庭、地域でのつながりについて学習機会を提供することができた。 ・「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で開催、参加者は1,098人であり、家庭読書や生活リズム等の講演をPTAや親子で受講した。			実績値	家庭教育ゼミナール開催 13回 家庭教育ゼミナール参加者 1,098人 家庭教育講演会 1回 224人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
816,000	679,805	189,805			490,000	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		事務局一般事務費			No.12	単位：円
事業内容	教育行政の推進に当たって必要となる賃金、需用費、役員費、負担金・補助金その他の一般事務費。			計画値	事業支援団体 1団体（遠野市学校保健会）	
成果	適正な予算執行のもと、各種事務及び事業を円滑に実施した。 また、遠野市学校保健会に対して補助金を交付し、学校保健活動の推進を支援した。 ・賃金 13,036,424円 ・共済費 2,276,784円 ・需用費 2,192,008円 ・役員費 213,164円 ・負担金（派遣指導主事給与費負担金等） 10,267,204円 ・遠野市学校保健会運営費補助金 440,000円 等			実績値	事業支援団体 1団体（遠野市学校保健会）	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
35,075,000	29,839,472				29,839,472	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園運営費補助金			No.13	単位：円
事業内容	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、園の運営に係る経費に対し補助金を交付することにより、幼児教育の振興を図る。			計画値	私立幼稚園 2園	
成果	備品購入費や施設整備費など、園の運営に要した経費の一部に対し、平成24年5月1日現在の園児数に2,500円を乗じた金額に、1園あたり400,000円を加算した金額を補助した。 ・光の園幼稚園 51人×2,500円+400,000円 ・遠野聖光幼稚園 42人×2,500円+400,000円 計 1,032,500円			実績値	私立幼稚園 2園	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,033,000	1,032,500				1,032,500	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園就園奨励事業費			No.14	単位：円
事業内容	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、私立幼稚園の設置者が徴収する保育料等を減免する設置者に対して国から3分の1以内の補助を受けて就園奨励する。			計画値	奨励費補助対象園児 90人	
成果	私立幼稚園2園の園児100人のうち70人が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者への経済的負担の軽減を図った。			実績値	奨励費補助対象園児 70人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,419,000	8,390,700	2,323,000			6,067,700	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園保育料助成事業費			No.15	単位：円
事業内容	私立幼稚園に通園させている保護者の経済的負担の均衡化及び幼稚園教育の振興を図ることを目的に、幼稚園就園奨励費補助金を減じた幼稚園保育料に、預かり保育料及び給食費の合計額を加え、その金額に対して第1子5%、第2子10%を助成し、第3子以降については月額4,800円を減じた額を助成する。			計画値	保育料助成園児 100人	
成果	保育料の助成により、保護者の経済的負担を軽減し、保護者がより子育てに意欲を持つことができるよう環境づくりに寄与した。 保育料助成園児数 100人 助成金額 3,549,500円			実績値	保育料助成園児 100人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,550,000	3,549,500				3,549,500	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		教育環境企画費			No.16	単位：円
事業内容	遠野市立中学校再編成計画（平成22年8月31日策定）に基づく中学校再編成を推進するため、具体的事項に関する検討及び協議を行う組織である「遠野市学校づくり協議会」を開催するとともに、その内部組織である3学区単位の学区部会を開催する。新設校の学校運営計画の策定に向けた会議を開催する。			計画値	学校づくり協議会の開催 新設中学校運営計画会議の開催	
成果	学校づくり協議会を2回、及びその内部組織である3学区単位の学区部会を計12回開催し、校歌、校章等の作成に関する検討を行い、新設校開設に向け、具体的な協議を行った。また、再編成する各中学校の校長を中心に新設中学校運営計画作成チームを組織し、新設校の年間スケジュールや学校運営計画を検討した。平成25年1月に、各校において学校運営計画を策定し、在校生及び新入生の保護者を対象に新設中学校学校説明会を開催した。			実績値	学校づくり協議会開催回数 2回 学区部会（3学区）12回 新設中学校運営計画会議（部会も含む）延べ32回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,783,000	793,028				793,028	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		学校教育一般事務費			No.17	単位：円
事業内容	学校教育に関する庶務一般。関係会議等の開催。また、指導主事の派遣による各小中学校の校内研究支援を行う。学校教職員の研修事業として初任者研修会（3回）、幼稚園・保育園・小学校交流会、特別支援教育支援員研修会、特別支援教育推進会議、相談担当者連絡会を開催する。岩手県ことばを育む親の会遠野支部、遠野市特別支援教育研究会の各事業へ補助を行う。			計画値	指導主事の派遣 108回 各種研修会の開催 7回 事業補助団体 2団体	
成果	各教科担当の指導主事の派遣によって校内研究の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進することができた。各種研修会では、課題とされる分野の研修を行うことで、学校教育のより一層の充実が図られた。			実績値	指導主事の派遣 115回 各種研修会の開催 7回 事業補助団体 2団体	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,958,000	1,501,325				1,501,325	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		文化行事奨励費			No.18	単位：円
事業内容	市内小中学校作品展の開催、市内小中学校児童生徒文集40「遠野」を発刊する。			計画値	児童生徒作品展の開催 1回 児童生徒文集の印刷 200冊	
成果	市内小中学校作品展は、市民センターで展示することにより、教育文化振興財団主催の文化振興会の来客等多くの市民に鑑賞いただいた。市内小中学校から、作品を推薦してもらい、児童生徒文集40「遠野」を発刊した。			実績値	児童生徒作品展の開催 1回 児童生徒文集の印刷 280冊	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
275,000	258,074				258,074	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		外国人講師招へい事業費			No.19	単位：円
事業内容	<p>小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育に対する支援を図るため、外国語指導助手（ALT）2名を招へいし、国際化に対応することのできる英語力の定着と国際理解学習の推進を図る。</p>			計画値	派遣学校数 19校 派遣回数 250回	
成果	<p>中学校では、「聞くこと」「話すこと」に関する言語活動を中心に、生徒の能力向上を図ることができた。 小学校では、外国語活動において、外国の言語や文化を体験的に理解するとともに、積極的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとする意欲の向上等の効果があった。 ※ 5月からは、ALT派遣に係る業務を委託し、業者から派遣されたALTが着任している。直接雇用のALTは、7月末日に退職。上記の件とあわせて、8月からALT1名体制となった。</p>			実績値	派遣学校数 19校 派遣回数 271回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
6,100,000	5,768,207				5,768,207	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		就学指導委員会費			No.20	単位：円
事業内容	<p>就学指導委員会を開催して、児童生徒（就学前児童を含む。）の就学に関する判断、支援を行う。</p>			計画値	就学指導委員会の開催 3回	
成果	<p>児童生徒（就学前児童を含む。）について、知能検査等や各種教育相談を経て、児童生徒個々に合う就学環境を検討・通知し、より良い就学に資することができた。</p>			実績値	就学指導委員会の開催 4回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
274,000	206,588				206,588	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		学校教育専門員配置事業			No.21	単位：円
事業内容	<p>学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導・支援を行うため、学校教育専門員を1名配置し、教員の指導力の向上を図る。</p>			計画値	訪問日数 45日	
成果	<p>各小・中学校の要請に応じて学校教育専門員を各校に派遣し、個別の研修から全体の研修まで様々なニーズに対応した。また、その内容は教科指導に限らず、授業づくりの基礎・基本、学校の主題研究の推進に係ることを含め、学校の多様な要望に応え、指導・助言を行った。</p>			実績値	訪問日数 60日	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
351,000	205,040				205,040	

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事 業 名		特色ある学校づくり事業費			No.22	単位：円
事業内容	市内小・中学校が、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計画値	実施学校数 19校	
	成果	学校、地域及び家庭の連携が図られ、地域に開かれた学校づくり及び特色のある学校づくりを推進することができた。 年度末に作成した報告集を、市ホームページで公開して多くの市民の目に触れるよう工夫できた。 【実施した事業の例】 遠野物語関連の演劇等、太鼓等楽器演奏、子ども語り部、しし踊り等郷土芸能、環境学習、キャリア教育等			実績値	実施学校数 19校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,900,000	1,654,394					1,654,394

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事 業 名		平成・南部藩寺子屋交流事業費			No.23	単位：円
事業内容	根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市と同七戸町の児童と、それぞれ市町を相互訪問し、交流を図る。日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団活動のあり方や公衆道徳等の体験を積む。			計画値	参加児童 26名	
	成果	市内の小学6年生が参加し、受入・派遣交流を通じて根城南部氏の縁でつながりのある各市町の歴史、文化等を学び、相互に交流を図った。 ・八戸市児童 46名。七戸町児童13名 ・受入交流 平成24年7月23日（八戸市、七戸町児童が来遠） ・派遣事業 平成24年8月1日から3日まで （遠野市児童が八戸市、七戸町を訪問）			実績値	参加児童 26名
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
913,000	906,800					906,800

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事 業 名		特別支援教育推進事業費			No.24	単位：円
事業内容	1 通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童の学校生活上の支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員12名を配置する。 遠野小学校及び遠野北小学校以外の小学校において、言語指導等が必要な児童に対して、巡回指導を実施する。 2 別室登校、個別に支援を必要とする生徒の学校生活上の相談を行うため、非常勤職員（ひかり相談員）1名を配置する。			計画値	特別支援教育支援員の配置 12名 学習指導講師の配置 1名 ひかり相談員の配置 1名	
	成果	1 小学校5校と中学校3校に特別支援教育支援員12名を配置し、通常学級に在籍する個別に特別な支援を必要とする児童生徒に対し、生活上、学習上の支援を行った。 巡回指導は、7校12名の児童を対象として行い、言語活動の改善等に向けて効果的な指導を行うことができた。 2 別室登校等の支援が必要な生徒に対し、中学校にひかり相談員2名（6か月間採用）を配置し、助言、指導及び相談等の様々な支援を行った。			実績値	特別支援教育支援員の配置 12名 学習指導講師の配置 1名 ひかり相談員の配置 2名 （各6ヵ月）
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
16,322,000	15,973,492				2,000,000	13,973,492

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		遠野わらすっこ「夢の教室」事業費			No.25	単位：円
事業内容	1 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB、OGが「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。			計画値	実施校数	5校
	2 中学校再編成事業の一環として「冬の特別編」を実施する。新設中学校に入学予定の小学校6年生が、新設中学校区ごとに集まり、ゲーム等での交流を通して様々なことを学ぶもの。				実施回数	11回
成果	1 小学校5・6年生296名を対象に授業を行った。「日常の学校生活では体験することの少ない元プロスポーツ選手等との触れ合いにより、多くの児童が、自分の夢について真剣に考えるようになった」「自分の夢を友達に堂々と話せるようになった」等と好評であった。平成21年度から始まったこの事業は、各校とも経験があるため、楽しみにしていた児童が多く、より活発に自分の夢について発言する児童が増えた。 ※ 実施校 遠野、遠野北、青笹、上郷、宮守			実績値	1 通常分 実施校	5校
	2 「冬の特別編」では、個性をもった仲間とお互いを大事にしあいながら助け合うことの大切さ等について学び、4月にスタートする新設中学校生活へ円滑な環境をつくることができた。				実施回数	11回
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
1,398,000		1,383,795				1,000,000
						一般財源 383,795

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		遠野市立中学校再編成事業費			No.26	単位：円
事業内容	平成25年4月に控えた新設中学校3校の開設に向けた環境整備を行う。 また、閉校に伴う記念事業実行委員会の設立と、閉校記念事業に対する運営費を補助する。			計画値	新設校3校の校章、校歌の作成	
					閉校記念事業実行委員会の設立 8団体	
成果	新設校校歌は、市内有識者により歌詞原案を作成し、学校づくり協議会及び学区部会で検討し、歌詞を制定。その後、校歌作成チームを結成し、歌詞に原曲を付し、学校づくり協議会及び学区部会で検討し、教育委員会において制定した。 新設校校章は、在校中学生に図案を募集し、学校づくり協議会及び学区部会で検討し、教育委員会において制定した。 新設校の環境整備のため、新設校の備品購入、物品の移設等を実施した。 中学校ごとに閉校記念事業実行委員会を設立し、各地域の実情に応じた閉校記念事業を実施した。			実績値	・新設校3校の校章、校歌の制定	
					・閉校記念事業実行委員会の設立 (8団体)	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
59,578,000		57,229,386				57,229,386
						一般財源

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		いわての復興教育学校支援事業費			No.27	単位：円
事業内容	小友小学校を復興教育推進校とし、復興教育に関する研究を行い、市内、県内の学校に対して、研究の成果を普及する。 ※ 「いわての復興教育学校支援事業」とは、東日本大震災からの復興のため、「郷土を愛しその復興・発展を支える人材の育成」を目的として実施する県事業で、県内全ての学校で取り組むほか、各市町村に復興教育推進校を指定し、復興教育に関して具体的な研究・推進・取組を行うもの。			計画値	復興教育推進校 1校	
成果	小友小学校は下記の学習等を通して、復興教育についての研究等を行うとともに、研究集録を作成した。 学習の結果、児童たちは3つの教育的価値（いきる、かかわる、そなえる）について認識し、身につけることができた。 また、岩手県教育委員会発行の「いわての復興教育」推進校実践事例集への掲載や市教育研究所の教育研究発表会での報告等で研究発表を行うことで、その研究の成果を市内はもとより、県内の各小中学校にも還元することができた。			実績値	復興教育推進校 1校	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の時間」の授業改善 ・被災地の高齢者施設の訪問等の体験活動 ・小友町敬老会や小友祭り等各種イベントへの参加等 					
財 源 内 訳						

予 算 額	決 算 額	支 出 内 容			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
250,000	212,267	200,000			12,267

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	3目	教 育 研 究 所 費	
事業名		教育研究費			No.28	単位：円
事業内容	<p>市内小中学生（小2～小6、中1～中3対象）に対して、標準学力検査（NRT）を実施する。その結果をもとに各研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>地域理解の推進と郷土を愛するところを育むため、地域の教材を活用した社会科副読本（小学校3・4年生用）の一部改訂及び社会科副読本（中学生用）をインターネットで閲覧できるよう整備する。</p> <p>幼児ことばの教室及び適応指導教室の運営を行う。</p> <p>児童生徒が学習した成果の発表の場として環境科学発表会を開催し、優秀者に対し表彰を行う。</p>			計画値	<p>NRTの実施 1回 幼児ことばの教室 教育相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会・環境科学発表会の開催 各1回</p>	
	成果	<p>市内小中学生（小2～小6、中1～中3対象）に対して、標準学力検査（NRT）を実施し、その分析結果を学力向上事業、研究部会の研究に反映することができた。</p> <p>小学3年生に、社会科副読本を配付した。中学生は、インターネットからの閲覧により活用した。</p> <p>幼児ことばの教室では、通級指導することで多くの幼児がその障がい改善、解消することができた。また、適応指導教室では、学校訪問等で不登校児童生徒の情報を共有しながら、教育相談を行った。</p> <p>環境科学発表会では、環境及び科学に関する学習の成果を他校の児童生徒と発表し合うことで、より広い視野を持ち、環境問題への意識を更に高めることができた。</p>			実績値	<p>NRTの実施 1回 幼児ことばの教室 教育相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会・環境科学発表会の開催 各1回</p>
予算額		決算額	財 源 内 訳			
6,490,000	5,474,746	国県支出金	地方債	その他	一般財源	5,474,746

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	4目	育 英 事 業 費													
事業名		育英事業費			No.29	単位：円												
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>			計画値	<p>新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 5人</p> <p>継続奨学生 大学生等 58人 高校生 2人</p>													
	成果	<p>新規奨学生31人（大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者）を決定し、継続奨学生58人（大学生等57人、高校生1人）と合わせて89人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。</p> <p>貸付状況</p> <table border="1"> <tr> <td>・新規大学生等</td> <td>31人</td> <td>14,880,000円</td> </tr> <tr> <td>・継続大学生等</td> <td>57人</td> <td>27,360,000円</td> </tr> <tr> <td>・継続高校生</td> <td>1人</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>89人</td> <td>42,360,000円</td> </tr> </table>			・新規大学生等	31人	14,880,000円	・継続大学生等	57人	27,360,000円	・継続高校生	1人	120,000円	計	89人	42,360,000円	実績値	<p>新規奨学生採用数 大学生等 31人</p> <p>継続奨学生 大学生等 57人 高校生 1人</p>
・新規大学生等		31人	14,880,000円															
・継続大学生等	57人	27,360,000円																
・継続高校生	1人	120,000円																
計	89人	42,360,000円																
予算額	決算額	財 源 内 訳																
42,497,000	42,465,120	国県支出金	地方債	その他	一般財源	40,129,542 2,335,578												

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	5目	公 舎 管 理 費	
事業名		公舎管理費			No.30	単位：円
事業内容	<p>教職員住宅の適切な維持管理を行う。</p>			計画値	<p>教職員住宅 12棟</p>	
	成果	<p>教職員住宅を適切に維持管理し、及び必要に応じた修繕を行い、教職員の居住環境の改善に努めた。</p> <p>・需用費（修繕料） 227,115円（延べ6件） ・建物火災保険料 25,407円</p> <p>教員住宅貸付料（歳入） 1,148,961円</p>			実績値	<p>教職員住宅 12棟 （11棟入居）</p>
予算額		決算額	財 源 内 訳			

ト	ノ	国県支出金	地方債	その他	一般財源
800,000	252,522			252,522	0

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名		小学校管理費			No.31	単位：円
事業内容	市内小学校の運営に要する一般維持管理費用。				計画値	小学校 11校 学級数 83学級 児童数 1,335人
成果	適正な予算執行のもと、市立小学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 53,221,301円 ・役務費 5,725,842円 ・委託料 10,444,287円 ・使用料及び賃借料 5,267,091円 ・工事請負費 6,721,050円 等				実績値	小学校 11校 学級数 83学級 児童数 1,335人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
84,458,000	82,708,014			725,773	81,982,241	

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名		学校保健管理費（小学校）			No.32	単位：円
事業内容	児童及び教職員の健康診断、衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育に関する活動を円滑に行う。 また、学校保健安全法の規定に基づき、小学校入学予定の幼児を対象に健康診断等を実施し、心身の状況を把握することで、義務教育の円滑な運営に資する。				計画値	児童数 1,335人 教職員数 124人 就学時健診対象幼児数 244人
成果	児童及び教職員の健康の保持増進及び疾病の予防に努め、健康教育の推進を図った。 （健康診断等実施項目） 内科・眼科・歯科健診（全児童）、耳鼻科健診（1～3、5年）、寄生虫卵検査（1～3年）、心臓検診（1・4年）、生活習慣病予防検診（4年）、脊柱側弯検診（5年）、尿検査（全児童）、教職員健診（全教職員）、教職員胃検診（35歳以上） また、10月及び11月に、小学校入学予定の幼児を対象に市内各小学校で健康診断等を実施したことで、子どもたちの心身の状況を把握し、義務教育の円滑な実施に資することができた。				実績値	児童数 1,335人 教職員数 124人 就学時健診実施幼児数 244人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
9,416,000	8,724,399	23,000			8,701,399	

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		通学対策費（小学校）			No.33	単位：円
事業内容	遠距離から通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 ・小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校に通学する児童を対象に、スクールバス・スクールワゴンを運行する。 ・遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に、路線バスの定期券を配付、下校便を運行する。 ・青笹小学校に通学する中沢地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。 ・宮守小学校、達曽部小学校、鱒沢小学校に通学する児童を対象に、スクールバスを運行する。 ・遠距離（4km以上）から通学する児童を対象に、通学費の助成を行う。 ・教育課程における児童移動のためのスクールバスを運行する。				計画値	・スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス委託） ・遠距離通学費補助金対象児童 33人
成果	遠距離から通学する児童のため、スクールバス等を運行し、通学の負担の軽減を図った。また、遠距離から通学する児童に対し通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ・小友小、土淵小スクールバス運行委託料 4,494,000円 ・土淵小、附馬牛小スクールワゴン運行委託料 2,840,525円 ・早池峰バス（駒木地区）運行委託料 1,271,605円 ・青笹小学校スクールタクシー運行委託料 508,530円 ・宮守小、達曽部小、鱒沢小スクールバス運行委託料 6,838,650円 ・スクールバス特別運行委託料 697,725円 ・遠距離通学費補助金 268,800円 ・車両管理費用 5,593,436円				実績値	・スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス委託） ・遠距離通学費補助金支給児童 35人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
23,618,000	22,513,271				22,513,271	

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		教材整備費（小学校）			No.34	単位：円
事業内容	各小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。			計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パーソナルコンピュータ借上げ 266台	
	成果	各小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。 また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。 ・教材備品購入費 3,088,375円 ・図書購入費 2,916,439円 ・パーソナルコンピュータ借上料 11,953,710円 等			実績値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パーソナルコンピュータ借上げ 266台
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
19,027,000	18,837,809					18,837,809

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		就学援助費（小学校）			No.35	単位：円
事業内容	経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。			計画値	児童数 155人	
	成果	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 157人 1,611,350円 通学用品費 142人 283,911円 新入学用品費 15人 298,500円 校外活動費 157人 296,367円 修学旅行費 28人 607,762円 通学費 10人 72,200円 学校給食費 157人 6,267,180円 学校病医療費 32人 387,570円 学校病医療通院費 13人 8,200円			実績値	支給児童数 160人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
10,403,000	9,833,040	915,000				8,918,040

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育関係費（小学校）			No.36	単位：円
事業内容	特別支援学級の活動に対する支援を行う。			計画値	・特別支援学級 対象校 6校9学級 対象児童 18人	
	成果	特別支援学級を開設する小学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。			実績値	・特別支援学級 対象校 6校9学級 対象児童 18人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
598,000	541,286					541,286

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育就学奨励費（小学校）			No.37	単位：円
事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。			計画値	児童数 18人	
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 7人 151,725円 学用品費 7人 38,850円 校外活動費 7人 8,755円			実績値	支給児童数 7人	
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
580,000		199,330		69,000		一般財源 130,330

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名		理科教育設備整備事業費（小学校）			No.38	単位：円
事業内容	学習指導要領が改訂され、平成23年度からの理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことから、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、小学校における理科教育の推進を図る。 ・平成21年度 全小学校 ・平成22年度 全小学校 ・平成23年度 遠野小学校、遠野北小学校、鱒沢小学校 ・平成24年度 綾織小学校、小友小学校、附馬牛小学校、土淵小学校 ・平成25年度 青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校、達曽部小学校			計画値	平成24年度整備 綾織小学校 小友小学校 附馬牛小学校 土淵小学校	
成果	綾織小学校、小友小学校、附馬牛小学校及び土淵小学校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図った。 【主な整備教材】 ・綾織小学校……百葉箱、大型振り子実験器 等 ・小友小学校……デジタルC02/O2モニター、デジタル顕微鏡 等 ・附馬牛小学校……百葉箱、生物顕微鏡 等 ・土淵小学校……デジタル顕微鏡、振り子実験器 等			実績値	教材備品整備品目数 綾織小学校4品目 小友小学校7品目 附馬牛小学校5品目 土淵小学校6品目	
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
1,000,000		989,040		346,000		一般財源 643,040

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	2目	教 育 振 興 費	
事業名		体育・文化行事奨励費（小学校）			No.39	単位：円
事業内容	小学校体育協会に対して事業費補助を行い、市内小学校の体育事業に対して支援を行う。 小学校音楽教育協議会に対して事業費補助を行い、市内小学校の音楽事業に対して支援を行う。			計画値	事業補助団体 2団体	
成果	小学校体育協会が主催する2つの大会（小学校水泳記録会、小学校陸上記録会）の開催を支援することができた。 小学校音楽教育協議会として、初めての主催となる市内小学校音楽祭の開催を支援することができた。			実績値	事業補助団体 2団体	
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
913,000		913,000				一般財源 913,000

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費		
事業名		教育研究指定校費（小学校）			No.40	単位：円	
事業内容	遠野小学校、綾織小学校、遠野北小学校及び達曽部小学校の4校を研究指定校とする。 指定2年目となる遠野小学校及び綾織小学校では、学校公開を行い、市内、県内の学校に対して、研究の成果を発表する。 遠野北小学校と達曽部小学校は、指定1年目であることから、次年度の学校公開に向けて、教科の研究を行う。			計画値	研究指定校 4校 学校公開研究会開催 2回		
	遠野小学校及び綾織小学校は、学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集、研究紀要、研究のまとめを作成した。また、学校公開を行うことで、その研究の成果を市内小中学校等にも還元することができた。 遠野北小学校と達曽部小学校は、研究指定1年目として基礎的研究を進め、2年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。				実績値	研究指定校 4校 学校公開研究会開催 2回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
520,000		482,307					482,307

10 款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費		
事業名		遠野小学校屋内運動場改築整備事業費			No.41	単位：円	
事業内容	屋内運動場の老朽化に伴い施設の改築を行い、教育環境の整備を図る。 平成23年度 基本設計、実施設計 平成24年度 屋内運動場改築工事、木造倉庫解体、用地購入 平成25年度 旧屋内運動場解体、備品購入 国の補正予算交付決定に伴い、平成24年度予算を前倒しし、平成23年度から予算を繰り越す。			計画値	屋内運動場改築 木造倉庫解体 用地購入		
	成 果	事業計画に基づき屋内運動場の改築工事を行い、市内小中学校の屋内運動場としては初めてLED照明を設置した。 また、教育環境の一体的な整備を図るため、562.77㎡の用地購入を行った。 屋内運動場改築工事 建築工事 218,407,350円 電気工事 18,354,000円 公有財産購入費 12,887,433円			実績値	屋内運動場改築 1074㎡ 木造倉庫解体 190㎡ 用地購入 562.77㎡ 渡り廊下増築 17㎡	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
284,394,000		271,603,283		141,993,000	124,000,000		5,610,283

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費		
事業名		中学校管理費			No.42	単位：円	
事業内容	市内中学校の運営に要する一般維持管理費用。			計画値	中学校 8校 学級数 38学級 生徒数 750人		
	成 果	適正な予算執行のもと、市立中学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 44,610,643円 ・役務費 4,099,900円 ・委託料 5,487,531円 ・使用料及び賃借料 2,892,679円 等			実績値	中学校 8校 学級数 38学級 生徒数 750人	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
59,980,000		58,391,813				84,624	58,307,189

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事 業 名		学校保健管理費（中学校）			No.43	単位：円
事業内容	生徒及び教職員の健康診断、衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育に関する活動を円滑に行う。			計画値	生徒数	750人
					教職員数	90人
成果	生徒及び教職員の健康の保持増進及び疾病の予防に努め、健康教育の推進を図った。 (健康診断等実施項目) 内科・眼科・歯科健診（全生徒）、耳鼻科健診（1年）、貧血検査（1・2年）、心臓健診（1年）、生活習慣病予防健診（1年）、脊柱側弯検診（1年）、尿検査（全生徒）、教職員健診（全教職員）、教職員胃検診（35歳以上）			実績値	生徒数	750人
					教職員数	90人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
6,527,000		6,051,800		18,000		一般財源 6,033,800

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事 業 名		通学対策費（中学校）			No.44	単位：円
事業内容	1 遠距離から通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 (1) 宮守中学校に通学する旧遠曽部中学校学区及び旧鱒沢中学校学区の生徒を対象に、スクールバスを運行する。 (2) 遠距離（6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費の助成を行う。 (3) 教育課程における生徒移動のためのスクールバスを運行する。			計画値	スクールバスの運行	3台
	2 中学校再編成により遠距離通学となる生徒の通学手段を確保するため、スクールバスを購入する。				遠距離生徒通学費補助対象生徒	23人
成果	1 遠距離から通学する生徒のため、スクールバスを運行し、通学の負担の軽減を図るとともに、遠距離から通学する生徒に対し通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 (1) 通学生徒送迎業務委託料 5,331,375円 (2) 遠距離生徒通学費補助金 193,880円			実績値	スクールバスの運行	宮守中学校 3台
	2 中学校再編成により遠距離通学となる生徒の通学手段を確保するため、スクールバス15台を購入した。 【スクールバス購入台数及び購入費】 中型バス（2台） 29,610,000円 マイクロバス（4台） 21,420,000円 ワゴン車（9台） 26,167,995円				遠距離生徒通学費補助対象生徒	28人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
87,394,000		85,917,709		27,840,000	49,200,000	一般財源 8,877,709

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事 業 名		教材整備費（中学校）			No.45	単位：円
事業内容	各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。			計画値	教材備品購入	
					図書購入	
成果	各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。 また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。			実績値	パーソナルコンピュータ借上げ	235台
	<ul style="list-style-type: none"> 教材備品購入費 1,750,304円 図書購入費 1,047,866円 パーソナルコンピュータ借上料 10,673,580円 等 					
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
14,619,000		14,259,944				一般財源 14,259,944

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	2目	教 育 振 興 費																													
事業名		就学援助費（中学校）			No.46	単位：円																												
事業内容	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。			計画値	生徒数 95人																													
	成果	就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。			実績値	支給生徒数 101人																												
		<table border="0"> <tr> <td>学用品費</td> <td>95人</td> <td>2,034,375円</td> </tr> <tr> <td>通学用品費</td> <td>64人</td> <td>136,166円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>31人</td> <td>709,900円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>95人</td> <td>204,375円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>35人</td> <td>2,696,957円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>6人</td> <td>48,000円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>95人</td> <td>4,697,085円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費</td> <td>30人</td> <td>493,979円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費</td> <td>11人</td> <td>10,920円</td> </tr> </table>		学用品費		95人	2,034,375円	通学用品費	64人	136,166円	新入学用品費	31人	709,900円	校外活動費	95人	204,375円	修学旅行費	35人	2,696,957円	通学費	6人	48,000円	学校給食費	95人	4,697,085円	学校病医療費	30人	493,979円	学校病医療通院費	11人	10,920円			
学用品費	95人	2,034,375円																																
通学用品費	64人	136,166円																																
新入学用品費	31人	709,900円																																
校外活動費	95人	204,375円																																
修学旅行費	35人	2,696,957円																																
通学費	6人	48,000円																																
学校給食費	95人	4,697,085円																																
学校病医療費	30人	493,979円																																
学校病医療通院費	11人	10,920円																																
予算額		決算額		財 源 内 訳																														
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																											
11,067,000		11,031,757		204,000			10,827,757																											

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	2目	教 育 振 興 費		
事業名		特別支援教育関係費（中学校）			No.47	単位：円	
事業内容	特別支援学級の活動に対する支援を行う。			計画値	特別支援学級 対象校 3校5学級 対象生徒 13人		
	成果	特別支援学級を開設する中学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。			実績値	特別支援学級 対象校 3校5学級 対象生徒 13人	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
418,000		345,118					345,118

10款	教 育 費	3項	中 学 校 費	2目	教 育 振 興 費														
事業名		特別支援教育就学奨励費（中学校）			No.48	単位：円													
事業内容	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。			計画値	生徒数 12人														
	成果	特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。			実績値	支給生徒数 8人													
		<table border="0"> <tr> <td>学校給食費</td> <td>8人</td> <td>200,600円</td> </tr> <tr> <td>学用品費</td> <td>8人</td> <td>86,800円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>2人</td> <td>22,900円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>8人</td> <td>26,240円</td> </tr> </table>		学校給食費		8人	200,600円	学用品費	8人	86,800円	新入学用品費	2人	22,900円	校外活動費	8人	26,240円			
学校給食費	8人	200,600円																	
学用品費	8人	86,800円																	
新入学用品費	2人	22,900円																	
校外活動費	8人	26,240円																	
予算額		決算額		財 源 内 訳															
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源												
555,000		336,540		117,000			219,540												

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事 業 名		理科教育設備整備事業費（中学校）			No.49	単位：円
事業内容	<p>学習指導要領が改訂され、平成24年度からの理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことから、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、中学校における理科教育の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度 全中学校 平成22年度 全中学校 平成23年度 遠野中学校、青笹中学校、宮守中学校 平成24年度 遠野中学校、青笹中学校、宮守中学校 平成25年度 全中学校 			計画値	平成24年度整備 遠野中学校 青笹中学校 宮守中学校	
	成果	<p>遠野中学校、青笹中学校及び宮守中学校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図った。</p> <p>【主な整備教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠野中学校…薬品運搬整理箱、デジタル顕微鏡 等 青笹中学校…高圧実験電源装置、クルックス管偏光極板入 等 宮守中学校…天体望遠鏡、静電高圧発生装置 等 			実績値	教材備品整備品目数 遠野中学校 4 品目 青笹中学校 7 品目 宮守中学校 3 品目
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,000,000	970,190	345,000			625,190	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事 業 名		体育・文化行事奨励費（中学校）			No.50	単位：円
事業内容	<p>中学校体育連盟に対して事業費補助を行うとともに、県大会、東北大会及び全国大会への選手派遣についての助成を行う。 中学校文化連盟に対する事業費補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。</p>			計画値	事業補助団体 2 団体	
	成果	<p>中学校体育連盟が主催する地区大会開催に係る支援を行った。また、各競技での県大会及び東北大会出場校及び選手の交通費、宿泊費等の補助を行うことで中学生の活動支援を行うことができた。 中学校文化連盟には、中学校総合文化祭開催等のための事業費補助を行い、文化事業の更なる充実を図った。</p>			実績値	事業補助団体 2 団体
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,264,000	2,879,000				2,879,000	

10 款 教 育 費 3 項 中 学 校 費 3 目 学 校 建 設 費

事業名		遠野中学校改築整備事業費(継続費)				No.51	単位:円
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の建替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。					計画値	外構工事(第1期) 備品購入 校舎改築工事 工事監理業務
	<p>【新校舎の概要】</p> <p>第1期改築工事(平成23年12月～平成25年2月まで)</p> <p>木造2階建、鉄筋コンクリート造2階建・3階建 4,676.38㎡</p> <p>第2期改築工事(平成25年10月～平成26年6月まで)(予定)</p> <p>木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 998.04㎡</p> <p>合計 5,674.42㎡</p> <p>【年度別計画】</p> <p>平成23年度 基本設計、実施設計、地質調査(平成22年度繰越分)</p> <p>校舎等解体工事(第1期)、校舎改築工事(第1期)、用地購入</p> <p>平成24年度 校舎改築・外構工事(第1期)、備品購入</p> <p>平成25年度 校舎改築・旧校舎解体工事(第2期)、屋外倉庫・駐輪場</p> <p>建設工事、外構工事(第2期)</p> <p>平成26年度 校舎改築工事(第2期)、旧校舎解体工事(第3期)、備品購入</p> <p>平成27年度 屋内運動場改修工事、外構工事(第3期)</p>						
成果	<p>【現年分】 116,446,469円</p> <p>スクールバスのロータリースペース、敷地内通学路等の外構工事と、特別教室や管理室の備品購入を行い、教育環境の整備に努めた。</p> <p>なお、国の緊急経済対策に伴い、平成25年度分校舎改築工事予算の一部を前倒しし、3月補正予算で58,269,000円を措置し、平成25年度に繰り越した。</p> <p>外構工事 74,298,000円</p> <p>備品購入 35,973,750円</p> <p>【通次繰越分】1,105,706,705円</p> <p>平成23年度からの継続事業として校舎改築工事(第1期)を進め、普通教室及び特別教室、管理室など新校舎の82.4%が完成し、平成25年2月28日に引き渡しを受けた。</p> <p>校舎改築工事(第1期)契約額 1,170,471,750円</p> <p>内23年度支払額 85,000,000円</p> <p>内24年度支払額 1,085,471,750円</p> <p>工事監理業務委託料 契約額 16,275,000円</p> <p>内23年度支払額 1,350,000円</p> <p>内24年度支払額 14,925,000円</p>					実績値	<p>【現年分】</p> <p>・外構工事(第1期)</p> <p>舗装 3,775㎡</p> <p>擁壁 156m</p> <p>側溝 583m</p> <p>縁石 681m</p> <p>柵 96m</p> <p>外灯 10基</p> <p>校門 1式</p> <p>グラウンド 1,440㎡</p> <p>・備品購入</p> <p>【通次繰越分】</p> <p>・校舎改築工事</p> <p>木造 2,202.4㎡</p> <p>鉄筋コンクリート 2,474.0㎡</p> <p>・工事監理業務</p>
	予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
(現年分)	185,594,000	116,446,469	73,400,000		43,046,469		
(通次繰越分)	1,118,500,000	1,105,706,705	446,379,000	657,300,000	2,027,705		
(合計)	1,304,094,000	1,222,153,174	446,379,000	730,700,000	0	45,074,174	

10 款 教 育 費 3 項 中 学 校 費 3 目 学 校 建 設 費

事業名		プール改修事業費				No.52	単位:円
事業内容	老朽化したプールの改修・ろ過器の計画的な更新により、プールの適切な維持管理に資する。					計画値	青笹中学校 ろ過器更新 プールサイド塗装
	<p>平成24年度 青笹中学校プールろ過器更新、プールサイド塗装</p> <p>平成25年度 鱒沢小学校プールろ過器更新、給水設備工事</p> <p>平成26年度 綾織小学校プールろ過器更新</p> <p>平成27年度 遠野西中学校プール改築</p>						
成果	<p>青笹中学校のプールのろ過器の更新とあわせシャワー用温水ボイラーの設置、プールサイドの塗装工事を実施し、プール設備を改修した。</p> <p>また、老朽化により設備の更新が必要なことから、遠野中学校にプールのシャワー用温水ボイラーを設置した。</p> <p>1 青笹中学校プール</p> <p>ろ過器更新工事 8,539,650円</p> <p>プールサイド塗装工事 1,869,000円</p> <p>2 遠野中学校プール</p> <p>シャワー用温水ボイラー設置 861,000円</p>					実績値	<p>青笹中学校</p> <p>・ろ過器更新及びシャワー用温水ボイラー設置</p> <p>・プールサイド塗装</p> <p>遠野中学校</p> <p>・シャワー用温水ボイラー設置</p>
	予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
11,279,000	11,269,650		9,800,000		1,469,650		

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費		
事業名		プール改修事業費（繰越明許費）			No.53	単位：円	
事業内容	<p>老朽化したプールの改修・ろ過器を計画的に更新する。</p> <p>平成23年度 宮守小学校プールろ過器更新 遠野中学校プールろ過器更新、配管設備改修（繰越）</p> <p>平成24年度 青笹中学校プールろ過器更新、プールサイド塗装 平成25年度 鱒沢小学校プールろ過器更新、給水設備工事 平成26年度 綾織小学校プールろ過器更新 平成27年度 遠野西中学校プール改築</p> <p>遠野中学校のプール配管からの漏水が確認されたことから、平成24年度のプール利用開始前に改修を行うため、平成23年度第6号補正で予算措置し、繰越事業として平成24年3月に工事を発注。</p>				計画値	ろ過器更新・配管設備改修	
	成果	<p>遠野中学校のろ過器の更新・配管の改修を実施した。</p> <p>契約年月日：平成24年3月23日 工期：平成24年4月2日～平成24年6月15日 完成年月日：平成24年6月15日</p>				実績値	ろ過器更新・配管設備改修
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,347,000		17,346,000					17,346,000

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費		
事業名		宮守中学校改修整備事業費			No.54	単位：円	
事業内容	<p>平成25年4月の遠野西中学校開校に伴い必要となる施設の改修を行い、教育環境の整備を図る。</p> <p>平成24年度 給食搬入口増築 平成25年度 中庭整備、多目的教室実施設計 平成26年度 多目的教室改修工事</p> <p>平成24年度は、25年4月から供用開始となる総合食育センターからの学校給食搬送開始に対応するため、給食搬入口の整備を図る。</p>				計画値	給食搬入口増築	
	成果	<p>給食搬入口の増築工事を実施し、平成25年4月からの給食搬送車の受入に備えた。 また、トイレ天井の改修工事を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>給食搬入口増築工事 14,430,150円 トイレ天井改修工事 438,375円</p>				実績値	給食搬入口増築 62㎡ トイレ天井改修
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,339,000		16,497,995					16,497,995

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費		
事業名		青笹中学校改修整備事業費			No.55	単位：円	
事業内容	<p>平成25年4月の遠野東中学校開校に伴い、不足する教室の増築と既存校舎（昭和63年建設）の改修を行い、教育環境の整備を図る。</p> <p>【年度別計画】 平成23年度 基本設計、実施設計、地質調査（平成24年度へ繰越） 平成24年度 校舎増築工事、大規模改造工事、冷暖房設置工事、外構工事、備品購入 平成25年度 倉庫整備工事、外構工事</p> <p>【増築及び大規模改造工事の概要】 工期 平成24年7月から平成25年2月まで 増築 … 木造一部鉄筋コンクリート造（普通教室、図書室、PC室） 405.51㎡ 改修 … 職員室・生徒トイレ拡張、屋根・内外壁・床再塗装等</p>				計画値	冷暖房設置設備工事 外構工事 備品購入	
	成果	<p>管理室への冷暖房設備設置工事及びスクールバス乗降場所の舗装工事等施設の状態を整えるとともに、増築した教室等の備品購入を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>工事請負費 冷暖房設備設置工事 3,376,700円 外構工事 7,094,850円 渡り廊下改修工事 504,000円 備品購入 12,529,698円</p>				実績値	冷暖房設備設置工事 外構工事 AS舗装 1080㎡ 暗渠排水 107.7m 備品購入
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
28,820,000		25,393,958					25,393,958

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		青笹中学校改修整備事業費（繰越明許費）			No.56	単位：円
事業内容	<p>平成25年4月の遠野東中学校開校に伴い、不足する教室の増築と既存校舎（昭和63年建設）の改修を行い、教育環境の整備を図る。</p> <p>【年度別計画】 平成23年度 基本設計、実施設計、地質調査（平成24年度へ繰越） 平成24年度 校舎増築工事、大規模改造工事、冷暖房設置工事、外構工事、備品購入 平成25年度 倉庫整備工事、外構工事</p> <p>【増築及び大規模改造工事の概要】 工期 平成24年7月から平成25年2月まで 増築 … 木造一部鉄筋コンクリート造（普通教室、図書室、P C室）405.51㎡ 改修 … 職員室・生徒トイレ拡張、屋根・内外壁・床再塗装等</p> <p>国の補正予算交付決定に伴い、平成24年度予算を前倒しし、平成23年度から予算を繰り越す。</p>			計画値	増築・改修工事 工事監理業務	
	成果	<p>教室の増築及び既存校舎の改修により、遠野東中学校の生徒数に対応する校舎の整備を図った。</p> <p>校舎増築・改修工事 建築工事 115,600,800円 機械工事 22,224,400円 電気工事 16,774,800円</p>			実績値	増築・改修工事 増築 405㎡ 工事監理業務
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
173,292,000	173,132,700	51,478,000	53,300,000		68,354,700	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		太陽光発電整備事業費			No.57	単位：円
事業内容	<p>公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団の支援事業である「コカ・コーラ復興支援基金の公立小中学校エコ支援事業」として遠野中学校が助成対象として採択されたことから、遠野中学校新校舎に太陽光発電パネル20kw及び蓄電池15kwhを整備する。</p>			計画値	太陽光発電 20kw 蓄電池 15kwh	
	成果	<p>太陽光発電パネル及び蓄電池の整備により、災害時の電力供給を確保するとともに、クリーンエネルギーの利用により平常時の電気料削減が図られた。 また、電力発電量や二酸化炭素排出量などを知ることができる表示装置を設置した。</p>			実績値	太陽光発電 20kw 蓄電池 15kwh
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
33,000,000	32,025,000			21,000,000	11,025,000	

10 款	教 育 費	4 項	幼 稚 園 費	1 目	幼 稚 園 費	
事業名		幼稚園運営事業費			No.58	単位：円
事業内容	<p>小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度等の基礎を培う教育を行う。</p>			計画値	市立幼稚園定員 宮守 70人 達曾部 35人 鱒沢 35人 定員延べ児童数 1,680人	
	成果	<p>幼児それぞれの興味や関心に応じた遊び等への直接的かつ具体的な体験を通じ、学びの楽しさに気づいたり、積極的に物事に関わろうとしたりする気持ちを持つよう指導することで、幼児の生活や学習の基礎を培うことができた。</p>			実績値	年度末現在入所者数 宮守 21人(30%) 達曾部10人(29%) 鱒沢 4人(11%) ※ 括弧内は定員に対する充足率 就園延べ児童数 437人
予算額	決算額	財 源 内 訳				

ト	ノ	国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,082,000	4,048,129			4,048,129	0

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費		
事 業 名		生涯学習一般事務費			No.59	単位：円	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の運営に係る一般事務を行う。 ・岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付する。 ・加盟団体（岩手県社会教育連絡協議会及び岩手県更生保護大会）に対する負担金 			計画値	補助金・負担金 3件		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する一般事務を行い、円滑な運営を図った。 ・岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取組を支援した。 			実績値	補助金・負担金 3件		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,094,000		6,865,984					6,865,984

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費		
事 業 名		生涯学習のまちづくり推進費			No.60	単位：円	
事業内容	<p>市民の生涯学習を支援するため、市民センター及び地区センターが生涯学習講座を実施する。実施に当たっては広報遠野「学びのいずみ」や、ホームページ上で講座開催の案内をする。</p> <p>また、市民と協働企画による講座「マナビークラブ」を実施し、より市民ニーズに沿った講座等の提供を行う。</p>			計画値	受講者数 4,760人		
	<p>市民センター及び各地区センターでパソコン、手芸や料理等の手づくり講座、遠野遺産めぐり、スポーツ教室など市民のニーズの把握に努め、生涯学習講座を開催した。</p> <p>また、自主企画による講座「マナビークラブ」では、絵画、陶芸、絵画、パッチワークの講座を行った。</p> <p>生涯学習講座を継続的に受講する市民が増え、学習活動を通じて受講者の交流が図られた。</p>			実績値	受講者数 4,513人		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,829,000		1,448,569				347,485	1,101,084

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		青少年活動サポート事業費			No.61	単位：円
事業内容	<p>本年度の青少年活動サポート事業は、下記の3つを柱とする活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式「はたちのつどい」 ・少年少女囲碁・将棋教室 ・各種団体への補助及び補助金交付 (遠野わらすっこまつり、遠野市青年団体協議会) 				計画値	<p>成人式対象者</p> <p>市内 220人 市外 50人 合計 270人</p> <p>囲碁将棋教室</p> <p>囲碁の部 20人 将棋の部 20人 合計 40人</p>
	成果	<p>関係機関等と協力し、総合的に活動をサポートすることができ、青少年育成を図ることができた。</p> <p>▽「成人式（はたちのつどい）」</p> <p>【内容】 主役となる新成人が成人式実行委員会を立ち上げ、企画・立案及び式の進行をすることで、社会人としての自覚を高めるとともに、地域の方々と一緒になって大人への門出をお祝いする。</p> <p>【成果】 実行委員が自分たちで考えたイベントを行うことにより、記念になったほか、行政がサポート役となることで「市民協働」での成人式を行うことができた。 成人者 258人（参加率83.8%）、来賓67人、一般 275人 総計 600人</p> <p>▽「少年少女囲碁・将棋教室」</p> <p>【内容】 子どもたちの余暇時間の有意義に過ごせる場の設定と、囲碁や将棋による他校の児童・生徒、指導者との交流体験を目的に開催している。指導者については老人囲碁クラブの方や将棋協会の方による地域の協力を得ている。</p> <p>【成果】 年間活動8回を実施した。また、クリスマス大会を行い、参加者の意欲を高めると共に交流を深めた。</p> <p>▽「各種団体への補助及び補助金交付」</p> <p>【内容】 わらすっこまつりを主催する「遠野わらすっこまつり実行委員会」に対して補助金を交付し、わらすっこまつり開催の支援をする。</p> <p>【成果】 遠野わらすっこまつりの開催に当たっては、児童館などの関係機関で実行委員会を結成し開催した。また、柏木平リバーサイドまつり、全国スポーツ流鏝馬競技大会との同時開催により、大人から子どもまで楽しめる場所を提供し、家族で様々な体験活動を行うことで家族の絆を深め、青少年の健全育成に寄与した。</p>				実績値
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,211,000	1,088,232				1,088,232	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社会教育総務費	
事業名		芸術文化振興事業費			No.62	単位：円
事業内容	1 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。 2 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等へ支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。 3 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。 4 市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。				計画値	市民センター自主事業の公演数 3回 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 12回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,900人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,250人
	1 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めた。 (1)歌舞候「わ組」公演(7月21日、みやもりホール) 鑑賞者254人 (2)わらび座舞踊舞台「遠野物語」公演(8月23日、市民センター大ホール) 鑑賞者874人 (3)アンサンブル・ベルリンコンサート(10月17日、あえりあ遠野交流ホール) 鑑賞者454人 (4)遠野市民センターバレエスタジオ開設35周年記念公演(11月25日、市民センター大ホール) 鑑賞者612人 2 芸術文化協会加盟15団体が自主事業として発表会を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した。 (1)第7回遠野市民芸術祭 ○10月21日、合同茶会 鑑賞者345人、参加者40人 ○11月3日～4日 ・舞台合同発表会 鑑賞者785人、参加者384人(32団体) ・総合展示会、菊花展 鑑賞者1,458人、参加者439人(22団体4個人) (2)芸術文化協会等主催事業 ○芸術文化協会の自主事業数 ・あえりあ遠野交流ホール2回 鑑賞者400人、参加者40人 ○芸術文化協会加盟団体の自主事業数 ・大ホール6回 鑑賞者2,940人、参加者520人 ・みやもりホール5回 鑑賞者920人、参加者160人 ・あえりあ遠野交流ホール1回 鑑賞者100人、参加者30人 ・あえりあ遠野語り部ホール2回 参加者45人 ・遠野まちなかギャラリー1回 鑑賞者100人、参加者50人 3 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。 ○第38回市民の舞台遠野物語ファンタジー「～高清水・妖かし物語～ぼんず」(2月23日、24日) 4 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。 (1)遠野市民センターバレエスタジオ ・毎週、金・土曜日の通常レッスン (2)遠野少年少女合唱隊 ・毎週土曜日の通常レッスン ・第23回発表会を12月8日に開催した。 中ホール 鑑賞者80人、参加者79人				実績値	市民センター自主事業の公演数 4回 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 15回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 2,293人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 9,693人
予算額		決算額		財 源 内 訳		
21,994,000		20,059,339		国県支出金	地方債	その他 一般財源
						12,949,734 7,109,605

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社会教育総務費	
事業名		と・お・のいきいき参画プラン推進事業費			No.63	単位：円
事業内容	個人の人権が尊重され、男女が性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について市民への意識啓発を行う。				計画値	補助金 1件
	「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について、市民に対しハートフルコンサート等での意識啓発活動を実施した。				実績値	補助金 1件

予 算 額	決 算 額	支 出 内 容			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
147,000	141,300				141,300

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		都 市 交 流 推 進 事 業 費			No.64	単 位 : 円
事 業 内 容	1 武蔵野市との児童交流により、それぞれの地域特性を活かした体験による人づくりとまちづくりを進める。			計 画 値	武蔵野市児童交流派遣 遠野市小学生 20人 引率保護者 4人 市職員 3人	
	2 サレルノ姉妹都市交流により、人、文化の交流から市民の国際理解と国際協力思想の高揚を図る。				サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞贈呈	
成 果	1 武蔵野市との児童交流 隔年で受入と派遣事業を行っている。平成24年度は、10月6日～8日までの2泊3日の日程で遠野市児童が武蔵野市を訪問し、吉祥寺駅周辺のウォークラリーや多摩六都科学館、ジブリ美術館見学など、遠野ではできない活動を通じて、相互に地域性の違いや生活上の共通点を理解し交流を深めた。			実 績 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生 20人 保護者 4人 市職員 3人 武蔵野市参加者 16人	
	2 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭に遠野賞(切り絵)を贈呈した。 また、平成26年度で姉妹都市締結30周年を迎えるイタリア・サレルノ市への市民訪問ツアーPRに係るチラシを印刷し、市民等への事業の周知を図った。				サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞(切り絵)贈呈 姉妹都市締結30周年記念ツアーPRチラシ印刷	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
962,000		909,332				一 般 財 源 909,332

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		少 年 少 女 ふ る さ と 発 見 探 偵 団 育 成 事 業 費			No.65	単 位 : 円
事 業 内 容	市内の異地域・異年齢の子どもたち(小学4～6年生)が、郷土の自然や歴史を楽しく学びながら、共に様々な体験活動を通して、集団の中でお互いに協調し、充実した人間関係や社会の規範を守れる子どもの育成を図ることで年6回の活動を行う。また、子どもたちに危険が無いように見守り、子どもたちの相談に応じて貰う事を目的に高校生や、大学生をボランティアでサポーターとして参加し、自ら指導者としての学習を行い、新しい時代を担うリーダーとしての向上を図る。			計 画 値	少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数 6回 登録団員 40人 延べ参加団員数 240人	
	1 探偵団登録団員が39人、年間を通して6回の活動を行い、延べ参加団員は234人。キャンプ等の野外活動や共同作業を通じて、他校の児童との交流を深めるとともに、子ども達が自ら作業にあたることで自主性も育まれた。 2 サポーターは、一般及び市内高校からボランティアを募集し、登録者は5人。ふるさと発見探偵団の活動やわらすつこまつりに協力していただいた。				実 績 値	少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数 6回 登録団員 39人 延べ参加団員数 234人 サポーター 登録者数 5人 延べ参加者数 13人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
358,000		268,703				一 般 財 源 91,220 177,483

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		放 課 後 子 ども プ ラ ン 推 進 事 業 費			No.66	単 位 : 円
事 業 内 容	児童館(児童クラブ)・学校・地域と連携し放課後子ども教室を開催し、安全な放課後の居場所づくりとともに、子どもたちの自主学習の習慣化を図ることを目的に開催する。			計 画 値	放課後子ども教室 11教室(小学校区単位)	
	放課後子ども教室は全11小学校区で開催し、学習アドバイザー、安全管理員を派遣し実施した。1教室あたり約43日。 24年度までに全小学校区で4年間実施したが、学力向上面からも効果的という意見がある一方、放課後は充分遊び、家に帰ってから学習するという形を身に付けさせたい、児童数が少ない学校では全員がどの活動にも取り組む状況であり、放課後に児童が取り組む活動が多いなどの意見が出されたことから、一部の教室は、夏休み期間中だけの実施となった。				実 績 値	放課後子ども教室 11教室(小学校区単位) 延べ12,558人参加
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
						一 般 財 源

		阿尔文矿业	地力奥	C.V.巴	股份
2,502,000	2,471,421	2,471,421			

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費	
事業名		公民館一般管理費			No.67	単位：円
事業内容	公民館施設を適切に維持管理し、地域における生涯学習の拠点として、地域住民が集い、安全かつ快適に地域づくり活動や学習活動を行うことができる環境をつくる。			計画値	平成24年度公民館使用料 計画1,200,000円 平成23年度実績 利用件数 4,421件 利用人数 84,876人	
	成果	維持管理に必要な保守点検等を実施し、市民の快適な利用に寄与した。			実績値	平成24年度公民館使用料 実績 915,695円 平成24年度実績 利用件数 3,675件 利用人数 69,135人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
37,714,000	36,494,043			915,695	35,578,348	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費	
事業名		文化交流施設管理費			No.68	単位：円
事業内容	生涯学習の場、交流の場としてのサービスの向上を図る。また、民間活力を活かすため、指定管理者による管理を行い、効果的・効率的な管理運営を行う。			計画値	平成23年度実績 利用者数 22,558人 (内訳) ホール 7,332人 会議室等 14,597人 展示室 629人	
	成果	市民の憩いの場、各種団体の交流の場として積極的に活用された。指定管理者の能力を活用することにより、市民が快適に施設を利用することができた。			実績値	平成24年度実績 利用者数 22,114人 (内訳) ホール 7,468人 会議室等 14,076人 展示室 570人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
24,739,000	22,073,943				22,073,943	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費	
事業名		公民館一般管理費（繰越明許費）			No.69	単位：円
事業内容	青笹地区センター浄化槽改修工事 平成23年度事業として予算化し、工事に着手したものの、23年度中の完成には適正な工期が確保できないため、平成24年度に繰り越して工事を行う。			計画値	工事請負費 1件	
	成果	青笹地区センター浄化槽改修工事 青笹地区センターに新たな浄化槽、排水設備等を設置し、利用者が安心して快適に使用できる設備に更新した。			実績値	工事請負費 1件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
22,050,000	18,977,700				18,977,700	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		文化財調査保護費			No.70	単位：円
事業内容	市内文化財調査により文化財の市指定を推進し、郷土の文化財保護と周知継承に努め、市民の郷土理解と郷土愛の醸成を図る。郷土芸能の保存継承を目的として映像記録保存を行うと共に、保存団体の活動を支援するため、必要な用具等の整備に対して支援を行う。			計画値	文化財保護審議会 2回 民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能団体補助 5件 市指定文化財説明板設置件数(累計) 56件	
	成果	11件(登坂家住宅及び庭園、佐々木喜善生家、板沢佐々木家、工藤家、宮守佐々木家、小林荒物雑貨店、早池峯神社サワラ、新山神社ヒバ、大森の大谷地、砥森神社のアカマツ)を市指定文化財として新たに指定した。市指定文化財早池峯神社門の屋根葺替工事にに対し5,491,000円を補助した。また、郷土芸能の備品整備等として5団体(塚沢神楽、湧水神楽、横田田植踊、暮坪虎舞、平倉神楽)に補助するとともに、映像記録を実施。郷土芸能の保存継承の支援に努めた。			実績値	文化財保護審議会 1回 民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能団体補助 5件 市指定文化財説明板設置件数(累計) 80件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
7,337,000	7,071,838				17,894	7,053,944

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		埋蔵文化財発掘調査費			No.71	単位：円
事業内容	文化財保護法に基づき、市内約500ヵ所確認されている埋蔵文化財包蔵地および隣接地における各種開発行為に対して、分布調査、試掘調査、工事立会、本発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努める。また、調査資料の整理を行って報告書を作成し、遺跡の記録保存を図るとともに、公開、活用によって郷土学習および調査研究に資する。文化財体験教室を開催し、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護			計画値	埋蔵文化財包蔵地に関する照会への回答 71件 試掘調査 13件 本発掘調査 1件	
	成果	増加する埋蔵文化財包蔵地に関する照会に対して適切に対処し、開発行為と文化財保護の円滑な調整を行った。住宅建築に伴う栃内野崎遺跡の本発掘調査を4月10日から6月12日に実施し、縄文時代後期の土器29箱分、石器約5,000点、土偶などが出土し、配石や土坑などの遺構を検出した。小中学生と保護者を対象に、文化財体験教室を7月7日(土器作り)、7月29日(勾玉作り)、12月26日(土偶作り)の3回開催し、延べ45人が参加した。			実績値	埋蔵文化財包蔵地に関する照会への回答 141件 試掘調査 6件 本発掘調査 1件 出土遺物室内整理作業 土器 29箱分 石器 約5,000点
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
7,704,000	7,388,474	1,306,000				6,082,474

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		文化的景観保存事業費			No.72	単位：円
事業内容	柳田国男著書『遠野物語』の舞台となり、文学と風土が融合した遠野独特の景観を日本の原風景として価値付けし、国民共有の文化的景観として保存していくため、「遠野 土淵山口集落」の重要文化的景観選定に向けた学術調査、地元住民との協議等を実施し、国に申出する。調査および地元住民との協議内容等を整理し、調査報告書、保存計画書としてまとめる。			計画値	保存調査委員会 2回 地域説明会 2回 文化的景観選定国申出 一式 保存調査報告書作成 300部 保存計画書作成 300部	
	成果	「遠野 土淵山口集落」の重要文化的景観選定に向けた学術調査、保存調査委員会開催、地元住民との協議等を経て、国に重要文化的景観として追加選定の申出を行い、平成25年3月27日付け文部科学省告示第51号で選定を受けた。調査および地元住民との協議内容等を整理し、調査報告書、保存計画書としてまとめ、関係機関等に配布した。			実績値	保存調査委員会 2回 地域説明会 4回 文化的景観選定国申出 一式 保存調査報告書作成 250部 保存計画書作成 350部
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,552,000	3,001,826	1,304,000				1,697,826

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		千葉県重要文化財指定整備活用事業費			No.73	単位：円
事業内容	国指定重要文化財千葉家住宅を保護するために、平成23年度に実施した取得予定物件の鑑定評価について、現時点の価格を得るため再鑑定評価を行い、文化庁国庫補助事業を導入して公有化する。			計画値	重要文化財千葉家住宅の土地18筆及び建物12棟それらに付随する工作物及び立木、動産の再鑑定評価と公有化	
	成果	取得予定の土地18筆243,530.66㎡(うち指定土地11,763㎡、指定外土地231,767.66㎡)、建物12棟(うち指定建物7棟、指定外建物5棟)、それに付随する工作物77カ所(うち指定工作物11カ所、指定外工作物66カ所)、立木19,222本、収蔵品699項目の再鑑定評価を委託して実施した。 しかし、所有者の死去に伴う相続確定に時間を要したため、平成24年度中に公有化することができず、公有化のため公有財産購入費129,645,000円を次年度に繰り越した。			実績値	重要文化財千葉家住宅の土地18筆及び建物12棟それらに付随する工作物及び立木、動産の再鑑定評価と公有化
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
133,104,000	2,628,180				2,628,180	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		千葉県重要文化財指定整備活用事業費(繰越明許費)			No.74	単位：円
事業内容	東日本大震災により崩落した重要文化財千葉家住宅の石垣を修復するために、文化庁国庫補助事業を導入して所有者が実施する災害復旧事業に対して費用の一部を補助する。平成23年度に実施予定だったが、凍結時期を避けて施工する必要があったため、平成24年度に実施することとなった。			計画値	補助金 2,089,000円	
	成果	国及び市の費用の補助により、崩落した石垣及び孕んだ周辺石垣、延長16.3m、高さ2.7mについて、積み直しと、蛇籠、裏込石による構造補強工事を円滑に実施し、復旧することができた。			実績値	補助金 2,089,000円
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,090,000	2,089,000				2,089,000	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保健体育総務費	
事業名		スポーツ振興一般事務費			No.75	単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 一般事務費 遠野市体育指導委員活動費 学校開放事業 全国市長会損害賠償補償保険 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業の実施 全国市長会損害賠償補償保険加入 体育指導委員定例会6回 	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業を実施し、学校体育施設を市民のスポーツ活動のため開放した。 全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険に加入した。 遠野市体育指導委員定例会を6回開催し、各スポーツイベントへ協力しスポーツの推進を行った。 			実績値	<ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業実施(市内小・中学校) 全国市長会損害賠償補償保険全市民加入 体育指導委員定例会6回開催
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,781,000	3,653,991			666,300	2,987,691	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費	
事業名		競技・スポーツイベントプログラム推進事業費			No.76	単位：円
事業内容	競技スポーツ・スポーツ少年団の技術、体力向上を図るため、各種目団体を育成・支援する。 また、指導者の育成を図る。			計画値	事業補助 3団体	
成果	遠野市体育協会を通して各競技への支援を行い、3種目3名が団体へ出場した。(空手道、馬術、ボウリング) スポーツ少年団では、空手道、一輪車の2種目4単位団が全国大会へ出場した。その他県大会、東北大会においても優秀な成績を収めた。 (遠野・上郷・宮守空手道、遠野一輪車クラブ) 市内サッカースポーツ少年団、中学校、高校サッカー部を対象にトップレベルの指導者を招聘し、競技力向上を図った。 (講師：小川章氏、菊池新吉氏、小笠原満男氏、岩清水梓氏)			実績値	事業補助 3団体 ①遠野市体育協会 ②遠野市スポーツ少年団本部 ③特定非営利活動法人FCとおの	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
11,876,000	11,563,436				11,563,436	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	1 目	保 健 体 育 総 務 費	
事業名		岩手国体施設整備調査事業費			No.77	単位：円
事業内容	平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会サッカー競技(少年の部)に係る、受入等国体に関する調査を行う。			計画値	・受入等に係る調査	
成果	選手、役員等の受入先の確認のため、宿泊施設実態調査を全県にて行い、受入可能施設及び受入可能人数の1回目の確認を行った。			実績値	・各種調査等 宿泊施設実態調査 1回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
251,000	32,391				32,391	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	2 目	学 校 給 食 費	
事業名		学校給食事業費			No.78	単位：円
事業内容	学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間形成などの目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全・安心でおいしい給食の提供に努める。 ・年間の給食実施回数：小学校 170回、中学校 168回 ・給食供給人数：2,405人			計画値	年間供給食数 407,048食 米飯回数 小学校 130回 中学校 129回 パン回数 小学校 40回 中学校 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 65%	
成果	給食には遠野産の食材を積極的に利用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれた給食を安全かつ確実に提供することができた。また、食育と地産地消を推進する活動の一環として「遠野旬を食べよう給食」を6回実施して、農業生産者や給食センター職員、児童生徒らが一堂に会して、食の大切さや地域の食文化等について語り合うことにより、児童生徒が食に対する理解を深めることができた。			実績値	年間供給食数 409,827食 米飯回数 小学校 130回 中学校 129回 パン回数 小学校 40回 中学校 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 69.5%	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
236,097,000	235,353,778			110,928,517	124,425,261	

10款	教 育 費	6項	保 健 体 育 費	2目	学 校 給 食 費	
事業名		ふるさと食材給食事業費			No.79	単位：円
事業内容	地元で生産される農畜産物を学校給食にいかし、郷土の食文化や地域で生産される農畜産物への理解を深めるための食育の実践と同時に、地場産物の消費拡大に努め、地産地消の推進を図る。			計画値	「遠野旬を食べよう給食」 年6回	
	成果	「遠野旬を食べよう給食」を実施し、遠野産の旬の食材にこだわった給食を提供するとともに、児童生徒、農業生産者、給食センター職員が一堂に会して、食の大切さや地域の食文化等について語り合い、理解を深めることができた。また、地場産物の利用拡大が図られ、給食食材の地産地消率向上につながった。			実績値	「遠野旬を食べよう給食」 年6回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
1,800,000	1,799,695	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					1,799,695	

10款	教 育 費	6項	保 健 体 育 費	3目	体 育 施 設 費	
事業名		体育施設管理費			No.80	単位：円
事業内容	1 遠野市民センター施設・遠野運動公園指定管理者基本協定等に基づき、体育施設の施設設置目的達成に向けて、効率的な運営及び維持管理を指定管理者が実施する。基本協定において市のリスク分担に該当する施設修繕及び備品・原材料の購入を行う。			計画値	指定管理 1件 運営・維持管理 10施設	
	成果	2 東日本大震災の後方支援活動拠点として活用した遠野運動公園多目的運動広場を修繕する（費用は全額県負担金）。また、市内体育施設の大部分を自衛隊の活動拠点として開放したため、市民の利用が集中して損傷したサッカー場B面を野芝での復旧ではなく、クレイ(土)グラウンドとして復旧する。			復旧工事 2件	
事業内容		1 市民が利用する体育施設の効率的な運営及び維持管理により、市民への快適な利用を提供した。指定管理料 73,070,000円 施設修繕4件、原材料（水路グレーチング3件） 備品購入2件（プールフロア、市民体育館用ボールキャリアー）			実績値	指定管理 1件 運営・維持管理 10施設 (市民プールは天井金具落下のため、8月25日以降使用を休止。代替施設：釜石市営プールを借用)
	成果	2 遠野運動公園多目的運動広場等修繕工事請負費 23,479,050円 遠野市民サッカー場B面改修工事請負費 36,943,200円 うち支払額15,000,000円。 例年がない大雪と低温のためチャンピオンサンドの製造出荷が3月から4月中旬以降に遅れるため、工期を平成25年4月30日に延長し、工事費23,683,000円を平成25年度へ繰り越した。				復旧工事 2件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
144,113,000	119,600,396	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
		23,479,050		4,513,594	91,607,752	

10款	教 育 費	6項	保 健 体 育 費	3目	体 育 施 設 費	
事業名		体育施設管理費（繰越明許費）			No.81	単位：円
事業内容	市民体育館西側の壁面に亀裂が入り改修の必要があることから、外壁、内壁の改修、並びに換気口を設置する。 市民体育館壁面改修工事 市民体育館西側（駐車場側）壁面部分の改修工事			計画値	改修工事 1件	
	成果	設計業務を委託した上で、改修工事を実施。施設の不具合箇所の改善、機能維持が図られた。 ・市民体育館壁面改修設計業務委託料 1,365,000円 ・市民体育館壁面改修工事 23,172,450円 亀裂補修は、壁面の突出部分の解体撤去を行い、フラットな形状で復旧した。また、採光や換気にも配慮するため、高窓を設置。壁面北側の機械設備の換気用ガラリは、錆びていたため新規へ改修。解体撤去を行わなかった鉄筋コンクリート部分は、劣化により空隙が生じている箇所へ注入材を充填、塗装まで施工し、耐久性を確保した。			設計委託 1件 改修工事 1件	
予算額		決算額	財 源 内 訳			
28,140,000	24,537,450	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					24,537,450	

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費	
事業名		健康増進体育施設整備事業費（繰越明許費）			No.82	単位：円
事業内容	遠野市民サッカー場B面をクレイ（土）グラウンドとして復旧する改修工事のため、排水設計を実施する。				計画値	設計委託 1件
	遠野市民サッカー場排水設計業務 全体計画、グラウンド表面排水計画、周辺排水計画					
成果	排水設計を委託し、成果品として報告書を作成した。				実績値	設計委託 1件
	遠野市民サッカー場排水設計業務 493,500円 ・全体計画（集水面積計算等を含む） ・グラウンド表面排水計画（造成計画含む） ・周辺排水路計画（既設水路接続終末処理等）					
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
8,677,000		493,500				一般財源 493,500

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	4 目	食 育 推 進 費	
事業名		食べ物が育てる元気な遠野っ子事業費			No.83	単位：円
事業内容	子どもたちが、生涯にわたって明るく充実した生活を送るためには、「食」が基本であることの認識に立ち、市内の小中高生を対象に、子どもたちの発達段階に応じた食育事業を推進する。				計画値	毎日、朝食をとる子どもの割合の増加 93.0%
	1 子どもの食育事業 （1）ちびっこ栄養教室（小学校の児童とその家族） （2）中学生食生活応援教室（中学校の生徒とその家族） 2 大人になる前の食育事業 （1）高校生健康生活定着事業（高校生とその家族）					
成果	1 ちびっこ栄養教室 望ましい食の基礎知識や興味を大切にしながら簡単な食事作りなど、体験の場を提供した。 17カ所 210名（全児童館） 1カ所 15名（土淵小学校）				実績値	毎日、朝食をとる子どもの割合の増加 93.3%
	2 中学生食生活応援教室 自分の健康と食生活の関係について正しく理解できるよう、家庭科の授業をとおして支援した。 1カ所 10名（小友中学校） 3 高校生健康生活定着事業 健全な食生活を主体的に実践できるよう、食生活面での自立を支援する取り組みとして講演会や調理実習を実施した。 健康づくり講演会 1校 260名（緑峰高校） 食生活改善講習会 2校 54名（遠野高校・遠野緑峰高校） 小学生ちびっこ栄養教室の参加者は増加したものの、朝食摂食の定着までにはいたらなかった。 食生活の基本は、家庭にあることから今後も遠野市食育推進計画に基づき、望ましい食習慣の定着が図られるよう支援する。					
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
592,000		512,733				一般財源 512,733

10 款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	4 目	食 育 推 進 費	
事業名		総合食育センター整備事業費（継続費）			No.84	単位：円
事業内容	遠野学校給食センター施設及び宮守学校給食センター施設の老朽化並びに今後の少子化に伴う給食提供数の減少が見込まれることから、統合による効率的及び効果的な総合食育センター施設の整備を行う。				計画値	建築工事 一式 建築附帯施設（厨房機器）工事 一式 外構工事 一式 工事監理委託 一式 調理器具等備品 一式 配送車両 一式 事務什器 一式
	・総合食育センター建築工事 ・建築附帯施設（厨房機器）工事 ・総合食育センター建築工事監理業務委託 ・配送車両、調理器具及び事務什器等の備品整備					
成果	総合食育センター建築工事及び建築附帯施設（厨房機器）工事が完了し、配送車両（5台）、調理器具及び事務什器等の備品を整備した。 平成25年4月3日に開所式を行い、学校給食の提供を開始した。				実績値	建築工事 一式 建築附帯施設（厨房機器）工事 一式 防風柵設置工事 一式 工事監理委託 一式 調理器具等備品 一式 配送車両 5台 事務什器 一式
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
(現年分) 1,063,753,000		1,057,951,371		317,040,000	671,500,000	69,411,371
(通次繰越分) 95,000,000		95,000,000		38,589,000	54,500,000	1,911,000

(合計)					
1,158,753,000	1,152,951,371	355,629,000	726,000,000	0	71,322,371